



# 東京農工大学大学院 履修案内

## 2021

〈令和3年度〉

農学府  
[入学生適用]



Tokyo University of Agriculture and Technology  
General Information for Studies and  
Course Description  
Graduate School of Agriculture  
(Master's Course/Doctoral Course)

# ● 目 次 ●

本学の目的 農学府の目的	1
ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー	2

<b>I. 授業について</b>	<b>3</b>
1. 基本的事項	3
(1) 学年と学期	3
(2) 学 年 暦	3
(3) 授業時間割表	3
(4) 授業時間	4
(5) 気象警報発令・交通機関運休等の際の 休講について	4
(6) 交通機関の運休・学校感染症・親族の死亡 に伴う授業欠席の取り扱いについて	5
(7) 専攻・コース・プログラムごとの略号	5
(8) 学籍番号	5
(9) 学生への周知方法	6
(10) 教務係窓口受付時間	7
(11) 本学ホームページのアドレス	7
<b>II. 履修手続き</b>	<b>8</b>
1. 基本的事項	8
(1) 履修とは	8
(2) 履修登録の期間	8
(3) 履修登録の手順	9
(4) 他学府科目履修願	9
(5) 履修手続きについての注意事項	10
2. 試験および成績	10
(1) 試 験	10
(2) 成 績	11
<b>III. 各種手続きについて</b>	<b>12</b>
1. 学籍異動（休学、退学など）	12
(1) 各種願出（届出）書	12
(2) 注意事項	12
2. 証明書の交付	13
(1) 証明書自動発行機	13
<b>IV. 履修案内Q&amp;A</b>	<b>13</b>
<b>V. 運動施設等の使用、建物配置図など</b>	<b>14</b>
1. 施設の使用	14
(1) 運動施設等	14
(2) 図 書 館	14
2. 府中キャンパス構内図・教室配置図	14
<b>VI. SPICA・Google Classroom について</b>	<b>15</b>
1. SPICA（学務情報システム）	15
2. Google Classroom（資料共有ツール）	16
3. moodle（学習管理システム）	16

## 農学府修士課程

<b>VII. 修了要件および履修方法について</b>	<b>18</b>
1. 修了要件	18
(1) 修了に必要な最低修得単位数	18
(2) 強化科目（整合教育）と他の研究科等 科目について	18
2. プログラムの修了について	19
(1) 各プログラムの修了要件	19
(2) ダブルプログラム修了	20
3. 履修方法について	21
(1) WEB 履修不可科目の履修登録方法	21
(2) 論文関連科目の履修について	23
<b>VIII. 学位授与の申請</b>	<b>25</b>
<b>IX. 教育課程表および教育研究内容</b>	<b>26</b>
(1) 教育方針	29
(2) 各コース・プログラムの特徴	29
(3) カリキュラム	30
(4) 授業科目概要	31
<b>X. プログラム別論文関連科目コード表</b>	<b>32</b>
1. 指導教員（主）科目コード表	32
2. 指導教員（副）科目コード表	33
<b>XI. 教職課程の履修</b>	<b>35</b>

## 農学府4年制博士課程

<b>XII. 修了要件および履修方法について</b>	<b>38</b>
1. 修了要件	38
(1) 修了に必要な最低修得単位数	38
(2) 強化科目（整合教育）と他の研究科等科目の 修了要件として算入できる上限単位数	38
(3) 早期修了	38
<b>XIII. 学位授与の申請</b>	<b>38</b>
<b>XIV. 長期履修制度について</b>	<b>38</b>
<b>XV. 専攻および教育研究分野の内容</b>	<b>40</b>
1. 共同獣医学専攻	40
(1) 教育方針	44
(2) 教育研究分野の内容	44
(3) 授業科目概要	44
講座別論文指導科目コード表	46
<b>XVI. 農学府教員連絡先</b>	<b>49</b>
<b>XVII. 提供するプログラム</b>	<b>49</b>
<b>XVIII. 各種様式集</b>	<b>50</b>

## 本学の目的

本学は、広汎な学問領域における急激な知の拡大深化に対応して教育と研究の絶えざる質の向上を図り、20世紀の社会と科学技術が残した「持続発展可能な社会の実現」の課題を正面から受け止め、農学・工学およびその融合領域における教育研究を中心に社会や環境と調和した科学技術の進展に貢献することを目的とする使命指向型の科学技術大学を構築することを目標としています。

使命指向型の科学技術大学として、

- 教育においては、知識伝授に限定されず、知の開拓能力・課題解決能力の育成を主眼とし、高い倫理性を有する高度専門職業人や研究者を養成することを目標としています。
- 研究においては、学術の展開や社会的な要請に留意しつつ、自由な発想に基づく創造的研究に加えて、社会との連携により総合的・学際的な研究も活発に展開し、社会的責任を果たすことを目標としています。
- 教育と研究の両面で国際的な交流・協力を推進し、世界に学び世界に貢献することを目標としています。
- 本学は、教育研究と業務運営の全活動について、目標・計画の立案と遂行状況の点検評価を実施・公表し、開かれた大学として資源活用最適化を図り、全学の組織体制と活動内容の絶えざる改善を図ることを目標としています。

## 農学府の目的

農学と関連分野における専門に立脚した高度な知識と技術を持ち、国内外の諸課題を解決するために専門分野を超えた持続的・社会的創成へ向けての幅広い知識に基づく俯瞰的な思考力を身につけ、深い学識と研究能力により、国内外のさまざまな現場における課題解決型技術者として活躍できる国際通用性のある人材、もしくは使命志向型博士課程への高度人材としての素地を養成するため、以下のことを教育目的としています。

- ① 持続的・社会的に必要となる人口・食料・資源・環境問題の解決に不可欠である、食糧・健康・生命機能・生物資源・資源管理・情報・農村社会基盤などの農林学や生命科学に関する高度専門知識と技術力の養成
- ② 個々の専門領域において個別の専門性を身につけながら、社会の持続的発展のための貢献を使命とし、自然と人間および社会と分野に関して深い理解と洞察をなす。俯瞰的視野を持ち国際人として活躍できる素養と教養の養成
- ③ 課題探求能力を持ち、社会要請にこたえて、科学的手法を駆使しつつ、現場に立脚した問題解決を図る能力を養成しつつ、研究倫理を尊び、自ら研究・調査した結果を報文や論文としてまとめ、学会や国際会議などで発表できる能力の養成
- ④ 豊かなコミュニケーション能力を備え、諸外国の歴史や文化を理解し、専門性と学際性を両立させながら、国際社会において指導的立場で活躍できる能力の養成

## ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

本学のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは以下の URL に掲載されています。学修の参考にしてください。

【東京農工大学 Web サイト】

トップページ>学生生活・就職進学>学生生活>三つのポリシー

[http://www.tuat.ac.jp/campuslife\\_career/campuslife/policy/](http://www.tuat.ac.jp/campuslife_career/campuslife/policy/)



# 1. 授業について

## 1 基本的事項

### (1) 学年と学期

学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わります。学期は、学年を1学期、2学期、3学期及び4学期に分ける4学期で構成されます。また、1学期及び2学期を前期（4月1日から9月30日）とし、3学期及び4学期を後期（10月1日から翌年3月31日）としています。

### (2) 学年暦

学年暦は本学ホームページ及び府中キャンパス WEB 掲示板に掲載されています。変更があった場合は本館掲示板に変更点が掲示されます。なお、学年暦は毎年更新されます。

【東京農工大学ホームページ】

トップページ>学生生活・就職進学>学生生活>学年暦

[http://www.tuat.ac.jp/campuslife\\_career/campuslife/gakunenreki/](http://www.tuat.ac.jp/campuslife_career/campuslife/gakunenreki/)



【府中キャンパス WEB 掲示板】

<http://t-board.office.tuat.ac.jp/A/menu.php#Cheu>



### (3) 授業時間割表

- ①1学期及び3学期は、主に通常授業（原則毎週実施する曜日・時限が確定している授業）として学期ごとに週単位で構成された授業時間割に従って行われます。ただし、不定期開講や集中講義として開講される場合もあります。
- ②2学期及び4学期は、主に集中講義として開講されます。
- ③授業時間割表は、前期分（1，2学期）は1学期の授業開始約1週間前までに、後期分（3，4学期）は3学期の授業開始約1週間前までに、紙媒体で配布します。
- ④本学のホームページには、通年分の時間割が1学期の授業開始約1週間前までに掲載されています。ただし、後期分（3，4学期）については、3学期の授業開始約1週間前までにホームページに更新版をアップします。
- ⑤授業時間割表の更新、休講、補講などがある場合は、その都度 WEB 掲示板で周知しますので、必ず確認するようにしてください。
- ⑥教育課程表の開講予定時期と実際の開講時期が変更されることがあります。時間割表を参照の上、不明な点は教務係に問い合わせてください。

#### (4) 授業時間

授業時間は、下記のとおりです。

授業時間は、実験・実習・演習など特定の場を除き、一区切 90 分間とします。

時 限	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限	6 時限
時 間	8:45	10:30	13:00	14:45	16:30	18:15
	∩	∩	∩	∩	∩	∩
	10:15	12:00	14:30	16:15	18:00	19:45

#### (5) 気象警報発令・交通機関運休等の際の休講について

天災等の際の授業（定期試験も含む）の取り扱いについては、以下のとおり定められています。天災等により休講が決定された場合は原則として決定から 1 時間以内に東京農工大学ホームページのお知らせ欄に掲載されることになってはいますが、以下の基準があることを考慮の上、最終的には各自で安全性を判断して行動してください。

- ①特別警報（暴風・大雨・洪水・大雪・暴風雪）が、午前 6 時時点で発令されている場合は、午前の授業（1・2 時限）は休講とし、午前 10 時時点で発令されている場合は、午後の授業（3～6 時限）も休講とする。
- ②警報（暴風・大雨・洪水・大雪・暴風雪）発令に伴う授業の取扱いは、次の基準に基づき、教育担当理事・副学長が判断する。
  - ・午前 6 時時点で当該警報が発令されており、安全確保が必要と認められる場合は、午前の授業を休講とする。
  - ・午前 10 時時点で当該警報が発令されており、安全確保が必要と認められる場合は、午後の授業を休講とする。
- ③上記①・②以外の天災及び事故等で特に各部局等において安全確保が必要と認められる場合は、部局長等の判断により授業を休講とする。
- ④上記①～③以外の天災及び事故等（ストライキ等を含む）により JR 中央線（新宿－立川駅間）、JR 武蔵野線（府中本町－武蔵浦和駅間）および京王線（新宿－京王八王子駅間及び調布－橋本駅間）のうち 2 路線以上が運休または運休する予定である旨を布告している場合、当該日の授業については次のとおりとする。
  - ・午前 6 時時点で当該事由による交通機関の運休が解決していない場合は、午前の授業を休講とする。
  - ・午前 10 時時点で当該事由による交通機関の運休が解決していない場合は、午後の授業を休講とする。
- ⑤休講を判断する時間は目安であり、特別警報・警報等の発令状況等によって大幅に前後することがある。
- ⑥休講に伴う補講を行う場合は、原則として各学期に設置する予備日に実施するものとする。
- ⑦休講措置が取られた場合、課外活動は全て禁止とする。
- ⑧上記①の場合は、対面及び遠隔で行う授業等とも休講とする。
- ⑨上記②から④の場合で、休講と判断した場合、対面授業等は休講とするが、遠隔授業等については、原則、実施するものとする。  
但し、担当する教員が出勤出来ない等の事情がある場合は、休講とする場合がある。

## (6) 交通機関の運休・学校感染症・親族の死亡に伴う授業欠席の取り扱いについて

次の事情により授業に出席出来なかった場合、「特定事由による欠席届」を用いて授業担当教員に申し出ることで、事情に応じて欠席として取り扱わない・追試を実施する等の教育的配慮を受けることができます。

- ①通学に利用する交通機関が運行休止になり、授業に出席出来なかった場合（オンライン講義の場合は除く。）
- ②オンライン講義、対面講義が連続した場合に移動時間を要し、授業に出席出来なかった場合
- ③学生が学校保健安全法施行規則に定める学校感染症等の出席停止が必要な感染症に罹患した場合及び感染の拡大を防止するために、授業に出席出来なかった場合  
なお、感染症等の拡大を防止するために、自宅等に待機とした場合に教育的配慮を実施するのは対面講義に限る。
- ④学生の三親等以内の親族が死亡した場合で、学生が葬儀、服喪その他の親族の死亡に伴い必要と認められる行事に出席するために、授業に出席出来なかった場合

詳細・欠席届（様式）は、右のQRコードからダウンロードできます。

【特定事由による欠席届】

[http://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/campuslife\\_career/campuslife/course/kesseki.pdf](http://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/campuslife_career/campuslife/course/kesseki.pdf)



## (7) 専攻・コース・プログラムごとの略号

専攻名（専攻略号）・コース名（コース略号）		プログラム名	プログラム略号
農学専攻 (修士課程) (MA)	生物生産科学コース (AC)	生物生産科学プログラム	AP
		生物制御科学プログラム	CP
	応用生命化学コース (LC)	応用生命化学プログラム	LP
	自然環境資源コース (EC)	環境資源物質科学プログラム	RP
		物質循環環境科学プログラム	EP
		自然環境保全学プログラム	NP
	食農情報工学コース (TC)	食農情報工学プログラム	TP
	地球社会学コース (SC)	地球社会学プログラム	SP
国際イノベーション農学コース (IC)	国際イノベーション農学プログラム	IP	
共同獣医学専攻（4年制博士課程）(VD)			

## (8) 学籍番号

学籍番号は、履修届、試験の答案、諸証明書の発行申請などを記入する際に使用します。

学籍番号は、8桁で以下のような決まりで割り振られます。

2	1	5	*	*	#	#	#
(入学年度)		(農学府コード)	(専攻・プログラムコード)		(専攻・プログラムごとの連番)		

### \* (専攻・プログラムコード)

生物生産科学コース	生物生産科学プログラム	:11	自然環境資源コース	自然環境保全学プログラム	:16
生物生産科学コース	生物制御科学プログラム	:12	食農情報工学コース	食農情報工学プログラム	:17
応用生命化学コース	応用生命化学プログラム	:13	地球社会学コース	地球社会学プログラム	:18
自然環境資源コース	環境資源物質科学プログラム	:14	国際イノベーション農学コース	国際イノベーション農学プログラム	:19
自然環境資源コース	物質循環環境科学プログラム	:15	共同獣医学専攻（4年制博士）		:01

令和3年度（2021年度）入学生の学籍番号は、以下のようになります。

生物生産科学コース	生物生産科学プログラム	：	21511001～
生物生産科学コース	生物制御科学プログラム	：	21512001～
応用生命化学コース	応用生命化学プログラム	：	21513001～
自然環境資源コース	環境資源物質科学プログラム	：	21514001～
自然環境資源コース	物質循環環境科学プログラム	：	21515001～
自然環境資源コース	自然環境保全学プログラム	：	21516001～
食農情報工学コース	食農情報工学プログラム	：	21517001～
地球社会学コース	地球社会学プログラム	：	21518001～
国際イノベーション農学コース	国際イノベーション農学プログラム	：	21519001～
共同獣医学専攻（4年制博士）		：	21501001～

なお、秋入学生は、入学区分により下3桁が501または701から割り振られます。

（例）令和3年度（2021年度）10月に国際イノベーション農学コース国際イノベーション農学プログラムに入学する者の学籍番号  
21519501～，21519701～

## （9）学生への周知方法

- ・府中地区事務部学生支援室・教務第一係・教務第二係（以下、この履修案内において「教務係」という）およびその他大学から学生への連絡は、原則としてWEB掲示板に掲示することにより行います。
- ・学生個人への連絡が必要な場合は、原則として学生メールへの送信により行います。
- ・毎日一回はWEB掲示板と学生メールを確認してください。

### 1) WEB 掲示板

学外からもアクセス可能です。掲載情報の種類ごとに複数のタブ（スマートフォンの場合は右上のメニューから切替）に分かれています。それぞれ下記 URL または QR コードからアクセスしてください。

#### 【教務情報】

<http://t-board.office.tuat.ac.jp/A/menu.php#Boar>



#### 【学生生活情報】

<http://t-board.office.tuat.ac.jp/A/menu.php#Buss>



- ◆ [教務情報] タブには、休講や授業日時変更、資格、留学・語学研修等、授業や単位に関するお知らせが掲載されます。
- ◆ [学生生活情報] タブには、奨学金や授業料免除、就職活動、課外活動等、学生生活全般に関するお知らせが掲載されます。
- ◆ その他、落とし物の情報が掲載された [遺失物情報] タブ、古いお知らせのアーカイブである [過去の情報] タブがあります。



### 〈使用方法〉

デフォルトの状態では、全てのお知らせが表示されますが、自身の所属・学年による絞り込みや、キーワード検索、カテゴリ検索が可能です。

なお、メニュー画面の「所属のデフォルト条件」に自身の所属・学年を入力すると、常に所属・学年による絞り込みがおこなわれた状態の画面を表示させることも可能です。ただし、重要なお知らせを見逃すおそれがあるため、この機能は極力使用しないでください。

## 2) 本館掲示板

WEB 掲示板に掲載することができない周知内容については、本館 1F 学生支援室前に掲示をします。

## 3) 学生メール (TUAT-ID@st.go.tuat.ac.jp)

呼び出しなど個人宛のお知らせについては、学生毎に割り振られたメールアドレスに送付します。メールアドレスやパスワードなどの学内ネットワークについては、総合情報メディアセンターに確認してください。

### 【総合情報メディアセンターURL】

<https://sites.google.com/a/go.tuat.ac.jp/imc/>



## (10) 教務係窓口受付時間

教務係窓口では、修学に関する手続・質問等を取り扱っています。

教務係窓口受付時間は、以下のとおりです。

受付時間 (平日および土曜・祝日開講日) 8:30~17:15

授業時間と窓口受付時間とは異なります。また、授業と授業の間の休憩時間は窓口が混雑しますので、履修している授業のない時間帯に来ると、各種手続きや申し込み等の用件を早く済ませることができます。

## (11) 本学ホームページのアドレス

学生生活に関わる情報は本学ホームページでも随時発信しています。

### 【本学ホームページ URL】

[http://www.tuat.ac.jp/campuslife\\_career/](http://www.tuat.ac.jp/campuslife_career/)

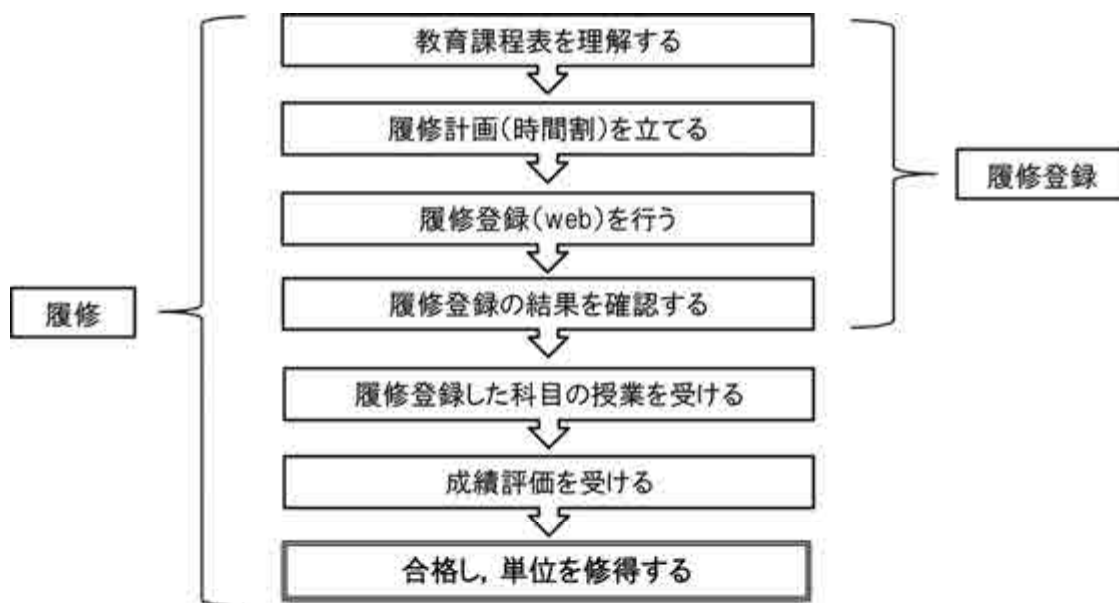


## II. 履修手続き

### 1 基本的事項

#### (1) 履修とは

『履修』とは定められた教育課程を習い修めることで、『履修登録』から『単位修得』までの一連の流れのことをいいます。『履修登録』とは、農学府が定めるルールに従って、学生各自が履修を希望する科目を『履修登録』し、かつ履修登録確認修正期間内に本人が責任を持って『履修登録結果を確認』する手続きです。期間内に正しく履修登録していない科目は、授業に出席しても単位として認定されません。



#### (2) 履修登録の期間

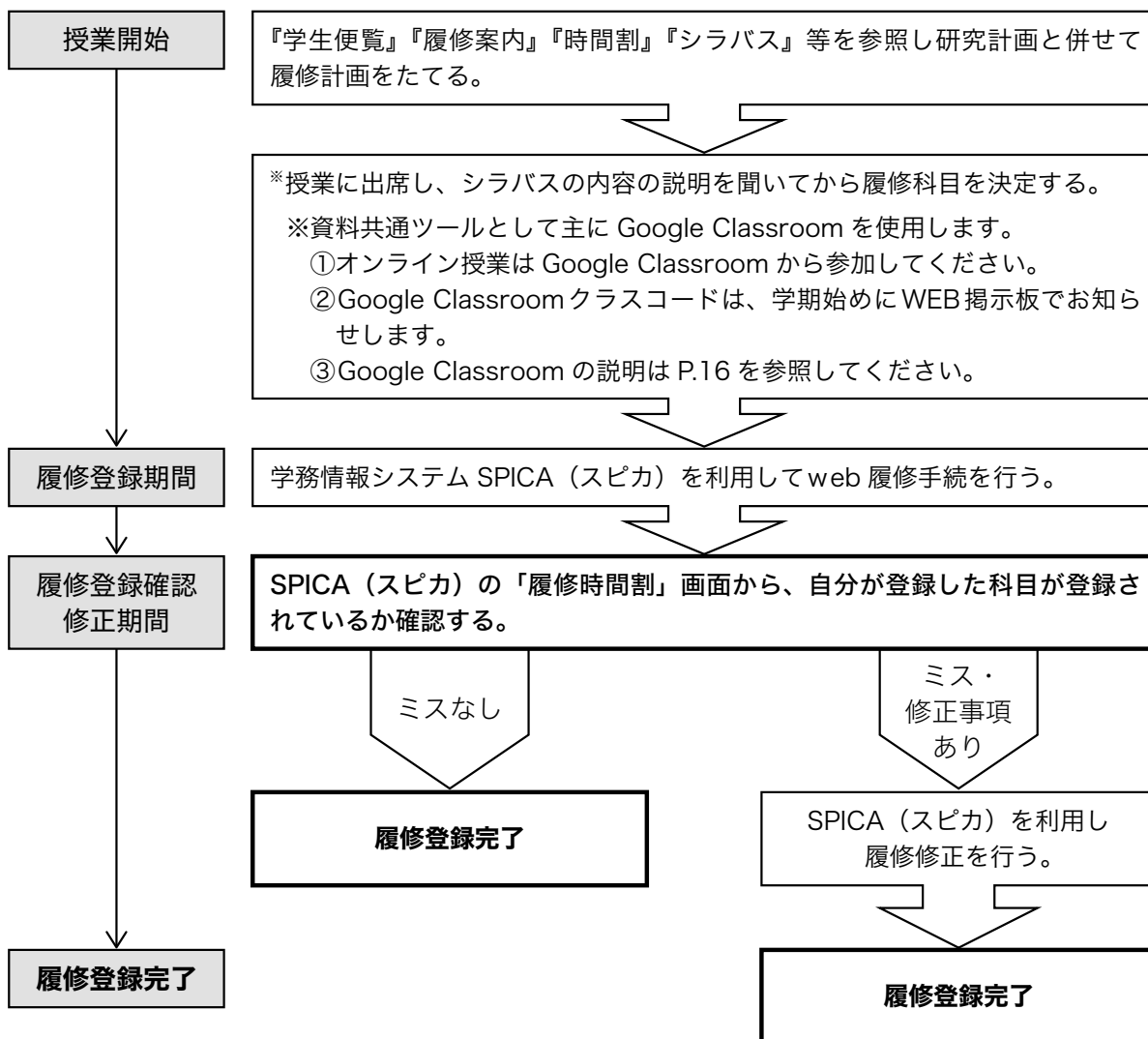
履修登録期間は下記の通りです。具体的な期間は WEB 掲示板でお知らせしますので、必ず確認してください。

	登録学期	授業開講形態の区分	履修登録期間	履修登録確認修正期間
前期	1・2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通常授業科目</li> <li>・ 通年科目</li> <li>・ 集中講義</li> <li>・ 教職科目</li> </ul>	1 学期の授業開始日から 2 週間程度	1 学期の履修登録期間の後 1 週間程度
後期	3・4 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通常授業科目</li> <li>・ 集中講義</li> <li>・ 教職科目</li> </ul>	3 学期の授業開始日から 2 週間程度	3 学期の履修登録期間の後 1 週間程度

※ 履修登録修正期間中に**必ず**、登録内容に漏れや誤りがないかどうか、確認してください。登録ミスにより単位が認定されない事例がみられるのでチェックは重要です。

### (3) 履修登録の手順

履修手続きは、次の手順に従って行ってください。



### (4) 他学府科目履修願

他学府科目については、授業担当教員の許可があれば履修することができます。

履修を希望する場合は、履修願（下記参照）を授業担当教員に提出してください。オンライン授業の場合は、メール等により授業担当教員の了解を得てください。履修許可を得た科目は、Web 履修登録を行ってください。

(担当教員提出用) 教員各位:履修を許可する場合は受理し、授業終了まで保管下さい。

令和 年度 前期 / 後期		他学府科目履修願				
時間割番号	履修科目	単位数	履修時間帯	講学科次	担当教員名	
			曜日	専攻		
			時限	年次		
学籍番号 ( ) 氏名		専攻		年度入学	年次	

東京農工大学農学府

## (5) 履修手続きについての注意事項

- ①履修登録は、各自が1年間および半期の履修計画を決め、修了にも関わってくる最も重要な手続きです。履修案内、掲示板およびガイダンス時の配付資料を熟読し理解のうえ、必ず履修登録期間内に手続きを完了してください。一部の特殊な科目を除き、**期間外の登録は一切認められません。**
- ②**履修登録確認および修正**は非常に重要な手続きです。学生自身のミスあるいはシステムエラーにより申告した科目が正しく登録できない場合があります。これらを修正するために履修登録確認および修正ができる期間を設けています。この所定の履修登録確認修正期間に、履修希望科目が正しく登録されたか否かを、必ず確認してください。**登録されていない科目は、授業に出席し試験に合格したとしても単位は認定されません。**
- ③重複履修（同一時限に2科目以上重複して履修すること）はできません。オンデマンド配信・オンライン授業等、時間割上の時限に授業を受講する必要がない場合であっても原則できません。
- ④既に単位を修得した科目については、再度履修登録することはできません。
- ⑤教育課程表・時間割等に従って、在学年次に応じた授業科目を順次履修してください。
- ⑥不明な場合は、早めに各専攻・プログラムの教育委員に問い合わせてください。
- ⑦**修了年次の学生は、原則、修了年度4学期（9月修了の場合は2学期）に開講する科目の履修はできません。**

## 2 試験および成績

### (1) 試験

#### 1) 定期試験

試験は、原則として「定期試験」を学期末および学年末に行いますが、授業科目によっては学期の途中で随時行うことがあります。また、病気等の止むを得ない理由で受験できなかった学生には追試験を、不合格者には再試験を行うことがあります。

#### 2) 受験心得

受験にあたっては、厳正な態度で臨み、不正な行為は行わないこと。受験中不正行為などがあつたと認められたときは、その行為が発覚した時点から謹慎処分となり、**東京農工大学学則第15条第2項又は第3項に規定する前期若しくは後期における当該学生の履修した授業科目すべての単位が無効となり、学則により相応の懲戒処分を受けることとなります。**

- ①受験する学生は、特別の指示のない限り試験開始の5～10分前までに、所定の教室に入室すること。
- ②特に指示のない限り、指定された座席で受験すること。
- ③受験に必要な物品以外は、監督者の指示する場所に置くこと。
- ④携帯電話は電源を切って、カバンの中にする。
- ⑤学生証は、受験中必ず机の上に置くこと。学生証を携帯しない者は、その試験が無効になることがあるので、必ず携帯すること。
- ⑥受験中は、筆記用具類の貸借をしないこと。
- ⑦受験中は、監督者の許可なく試験場外に出ないこと。
- ⑧受験中は、騒音等を発し、他人の受験の妨げとなるようなことはしないこと。

- ⑨試験開始後30分以内は、退室をしないこと。
- ⑩30分以上遅刻した者は原則として受験することができない。ただし、事情によっては受験を許可することがあるので、授業担当教員の指示をうけること。
- ⑪答案に専攻、入学年度、学籍番号、氏名の記載がないと無効になることがあるので、記載の確認をすること。
- ⑫試験時間が終了、または、終了前に答案を作成し終ったときは、特に指定がない限り、教卓上に提出するか又は監督者に直接手渡して静かに退室すること。自己の机の上に置いて退室しないこと。
- ⑬答案用紙の持ち帰りはしないこと。
- ⑭履修承認を受けた正規受験者以外は入室しないこと。

## (2) 成績

成績評価の通知は、前期、後期ごとに学務情報システム（以下、SPICA という。）を通じて行います。通知時期は、前期の成績は9月中旬、後期の成績は3月中旬（修了年次の後期の成績は2月中旬）です。具体的な期日は、掲示にて周知します。成績を閲覧し、単位を修得した授業科目を確認し、次期以降の履修計画をたてる際に参考にしてください。

学期ごとの成績は、パソコンから SPICA へログインして確認してください。自動証明書発行機での印刷は、禁止とします。

### 1) 成績評価基準

成績評価は、「S」（100～90点）、「A」（89～80点）、「B」（79～70点）、「C」（69～60点）、「D」（59～0点）の5段階評価で行われます。「S」、「A」、「B」、「C」を合格とし、単位を付与します。「D」を不合格（途中放棄も含む）とし、成績表には表示されますが、成績証明書には表示されません。

GPA・成績表および成績証明書記載事項の対応表

評価	評点	達成状況	GPA 評価点	成績表への表示	成績証明書への表示	
合格	S	100～90点	到達基準を超えた成果を上げている。	4	あり	あり
	A	89～80点	到達基準を十分達成している。	3	あり	あり
	B	79～70点	到達基準を達成している。	2	あり	あり
	C	69～60点	到達基準をおおむね達成している。	1	あり	あり
不合格	D	59～0点	到達基準に達していない。	0	あり	なし
認定	認定	評価を認定したもの (入学前既修得単位認定等)		なし	あり	あり

※ GPA は成績表、成績証明書には表示されません。必要となる場合は自身で算出してください。

### 2) 成績確認制度

前期・後期ごとに成績の確認期間を設けています。自分の成績評価に対しての疑問などがある場合は所定の申請書により教務係まで申し出てください。前期は9月上旬、後期は3月上旬（修了年次は2月上旬）に詳細を掲示します。



### Ⅲ. 各種手続きについて

#### 1 学籍異動（休学，退学など）

##### （1）各種願出（届出）書

願出（届出）書の配布および受付は，教務係で行っています。

手続きには時間がかかる場合があるため，余裕を持って教務係に受取り・相談に来るようにしてください。

	提出期日	備考
休学願	前月15日まで	連帯保証人の署名捺印，教員の署名が必要。 病気による休学の場合は医師の診断書を添付すること。 学期の途中からの休学の場合，授業料の取り扱いが変わるため，教務窓口にお問い合わせすること。
復学願	前月15日まで	休学期間満了前に休学の理由が消滅し，復学をする場合に必要。
退学願	3月31日付の退学 ：3月15日まで 9月30日付の退学 ：9月15日まで	連帯保証人の署名捺印，教員の署名が必要。 学期途中での退学の場合，当該在学期間の授業料納付が必要。
留学願	渡航する前々月 15日まで	その他にも提出書類があるので，教務窓口を確認すること。
転学府・ 転プログラム願	1月中旬	連帯保証人の署名捺印，教育委員の捺印が必要。 手続きの詳細は12月に掲示するので確認のうえ，所属プログラムの教育委員に相談すること。
他大学等 受験届	他大学などを 受験する前	連帯保証人の署名捺印，専攻・プログラム教育委員の捺印が必要。 本学を再受験する場合も届出が必要。

##### （2）注意事項

- ①休学または退学しなければならない場合は，事前に専攻・プログラム教育委員および学生生活委員の先生に相談してください。
- ②休学期間は，修士課程の場合は通算して2年，4年制博士課程の場合は通算して4年を超えることはできません。なお，在学または休学について定められた期間を超えたときは退学処分となります。その他休学に関する取扱いについては学則を参照してください。
- ③本学に在学のまま他大学の入学試験（本学への再入学試験を含む）を受ける場合は，プログラム教育委員に相談し，「他大学等受験届」を提出してください。なお，可否の結果は直ちに教務係に報告し，他大学に入学する場合（本学への再入学も含む）は「退学願」を提出してください。

## 2 証明書の交付

### (1) 証明書自動発行機

府中地区事務部学生支援室・学生生活係に設置されている証明書自動発行機により発行できる証明書は下記の通りです。(利用時間 平日および土曜・祝日開講日 8:30~17:15)

	発行方法	交 付		注 意
		和 文	英 文	
学 割 証	自動発行機	即 日	—	在学中
在 学 証 明 書	自動発行機	即 日	即 日	在学中(休学中は発行不可)
成 績 証 明 書	自動発行機	即 日	即 日	当期以前までの分(成績開示以降)
健康診断証明書	自動発行機	即 日	—	在籍中(学内の健康診断を受診し、再検査なしの場合)
修了見込証明書	自動発行機	即 日	即 日	修了年次の5月中旬頃から発行可。

※ その他の証明書については学生便覧を参照してください。

※ 修了等離籍後の証明書発行については、本学ホームページ《卒業生の皆様→卒業生の証明書の申請方法》を参照してください。

## IV. 履修案内Q & A

教務係の窓口でよく聞かれる履修に関する質問事項は、『履修案内Q & A』として本学ホームページに載っています。参考にしてください。

東京農工大学トップページ>学生生活・就職進学>学生生活>履修案内  
[http://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/campuslife\\_career/campuslife/course/nougakubu\\_risyu\\_qa.pdf](http://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/campuslife_career/campuslife/course/nougakubu_risyu_qa.pdf)



# V. 運動施設等の使用，建物配置図など

## 1 施設の使用

### (1) 運動施設等

本学には、グラウンド、総合屋内運動場、テニスコート、ゴルフ練習場等の運動施設、学生同士の交流やレクリエーション等をおこなえる福利厚生施設があります。これらの施設は、授業や課外活動による利用以外にも、一般学生向けに公開されています。

各施設それぞれに利用規則が定められていますので、利用のための手続きの詳細については学生便覧の「学生生活関係施設等」の項を参照してください。

東京農工大学トップページ>学生生活・就職進学>学生生活>学生便覧  
[http://www.tuat.ac.jp/campuslife\\_career/campuslife/binran/](http://www.tuat.ac.jp/campuslife_career/campuslife/binran/)



### (2) 図書館

府中・小金井各地区それぞれに図書館があり、各種図書や雑誌、電子ジャーナル、データベース等が利用できます。図書館の開館日時・利用方法については図書館のホームページを参照してください。

東京農工大学トップページ>大学案内>附属機関>図書館  
<http://web.tuat.ac.jp/~biblio/>



## 2 府中キャンパス構内図・教室配置図

府中キャンパス内の各建物・教室の配置については以下を参照してください。

府中キャンパスマップ  
[http://www.tuat.ac.jp/outline/overview/access/fuchu/campus\\_map/](http://www.tuat.ac.jp/outline/overview/access/fuchu/campus_map/)



教室配置図  
[http://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/campuslife\\_career/campuslife/course/fuchu\\_kyoshitsumap.pdf](http://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/campuslife_career/campuslife/course/fuchu_kyoshitsumap.pdf)





# VI. SPICA・Google Classroom について

## 1 SPICA（学務情報システム）

SPICA（学務情報システム）は、インターネットを通じて履修登録・成績照会などが可能なサービスです。SPICA で利用可能なサービスは次のとおりです。

- ・履修登録
- ・時間割確認
- ・シラバス検索
- ・各種お知らせの確認
- ・授業アンケート
- ・成績照会（※学内からのアクセスのみ）
- ・学籍情報照会（※学内からのアクセスのみ）

特に履修登録については原則 SPICA を通じてのみ可能となっているため、以下の URL からアクセス方法・操作方法をあらかじめよく確認してください。

### 【アクセス方法】

学生生活・就職進学>学生生活>学務情報システム（SPICA）利用のご案内>  
学務情報システムログイン

<https://spica.gakumu.tuat.ac.jp/portal2/>



### 【操作方法】

学生生活・就職進学>学生生活>学務情報システム（SPICA）利用のご案内>手引き  
[http://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/campuslife\\_career/campuslife/spica/manual.pdf](http://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/campuslife_career/campuslife/spica/manual.pdf)



初回ログインはオリエンテーションで配布される ID・パスワードを使用してください。パスワードは総合情報メディアセンターの管理する申請管理システム「Salut」にて変更可能です。変更後のパスワードは各自で管理し、万が一忘れた場合は総合情報センター窓口（小金井図書館 1 階，府中新 2 号館 2 階）で再発行してください。

### 【パスワード変更】

申請管理システム「Salut」 <https://salut.ecs.tuat.ac.jp/>



## 2 Google Classroom (資料共有ツール)

Google Classroom は G Suite に含まれる簡易的な LMS (Learning Management System) です。各授業の情報は classroom や WEB 掲示板から伝えるようにしています。Google サービスにログインしていればクラスに参加できます。クラスに参加するには、その授業の「クラスコード」を担当教員から知らされるか、担当教員からクラスへ招待される必要があります。クラスコードを知っている場合は、Google Classroom のページからクラスに参加することができます。

### 【アクセス方法】

<https://classroom.google.com/>

※ ログイン ID には TUAT-ID ではじまるメールアドレスの@以下もすべて入力  
(農工大 Google アカウント)してください。

※ ログインに利用するメールアドレスは、<TUAT-ID>@go.tuat.ac.jp または  
<TUAT-ID>@st.go.tuat.ac.jp です。



### 【操作方法】

総合情報メディアセンター>サービス一覧>オンライン授業ツール>

4.1 Google Classroom>参考資料



## 3 moodle (学習管理システム)

moodle とは、総合情報メディアセンターによって提供される学習管理システム (LMS) です。

一部の授業では moodle を使用して資料の配布、レポート課題の提出、小テスト等がおこなわれますので、アクセス方法及び操作方法をあらかじめよく確認してください。使用する ID・パスワードは SPICA と同一です。

### 【アクセス方法】

学生生活・就職進学>学生生活>教育支援・相談窓口>学習管理システム moodle

<https://lms-2.tuat.ac.jp/moodle/>



### 【操作方法】

上記 URL から SPICA-ID でログイン後、「Home>在学生マニュアル>私を登録する」の順でクリックすると操作マニュアルが参照できます。

# 農学府修士課程

# VII. 修了要件および履修方法について

履修する科目については、「農学府時間割表」、「農学府履修案内」、「学生便覧」に記載する「農学府教育規則」等を参照し、研究計画と併せて指導教員と履修計画を立て、所定期間内に履修登録をしなければなりません。

## 1 修了要件

標準修業年限（2年）以上在学し、教育課程に従い、下記表に示す単位数を修得するとともに、研究指導を受け、在学中に学位論文を提出して審査に合格し、かつ、最終試験に合格することとしています。（学則第73条を参照）

### (1) 修了に必要な最低修得単位数

修了に必要な最低修得単位数は、以下のとおりです。

修了要件については、IX. 教育課程表および教育研究内容（26ページ～）を参照してください。

修了に必要な最低単位数

【共通基礎科目・共通演習科目・専門科目・強化科目・他学府科目】 あわせて18単位以上				
【共通基礎科目】 4単位以上			【共通演習科目】 2単位以上	【専門科目】 4単位以上
自コースの概論 1単位以上	他コースの概論 1単位以上	「21世紀農学特論」 ◎1単位	「国際研究プレゼンテーション 演習Ⅰ（又はⅡ）」 1単位	自コースの科目 2単位以上

【論文関連科目】 あわせて12単位		
【特別研究】	【特別演習】	
A群又はB群	「農学特別演習Ⅰ （又はⅡ）」	論文レビュー特別 演習Ⅰ（又はⅡ）
6単位	4単位	2単位

※共通基礎科目、共通演習科目、専門科目、強化科目、他学府科目及び論文関連科目から合計30単位以上を修得すること。ただし、強化科目は4単位、他学府科目は2単位を上限とする。

※課程修了の要件として、自身が所属するプログラムを必ず修了すること。プログラムごとの修了要件は次ページ以降を参照のこと。

※論文関連科目は、指導教員に相談の上、選択すること。

※教職課程を履修する者については、35ページを参照のこと。

### (2) 強化科目（整合教育）と他の研究科等科目について

整合教育とは、教育効果を高めるため農学府と農学部が協力して行う教育です。指導教員が教育上有益と認める場合のみ、学部科目を『強化科目』として履修することができ、4単位を上限として修了要件単位数に含めることができます。

また、本学他学府科目について、指導教員が教育上有益と認める場合のみ、工学府又は生物システム応用科学府の前期課程授業科目を履修することができ、2単位を上限として修了要件単位数に含めることができます。

履修を希望する者は、指導教員と相談の上、所定の履修登録期間内に「科目登録履修届」を提出してください。

なお、本学と単位互換協定を締結している他大学大学院の単位互換開放科目を履修することができますが、修了要件単位数に含めることはできません。なお、修得した単位数は成績証明書には記載されません。

## 2 プログラムの修了について

課程修了のためには、自身の所属するプログラムをあわせて修了する必要があります。

原則として、修了できるプログラムはひとつだけです。ただし、次ページ「(2) ダブルプログラム修了について」に記載の条件を満たした場合には、自身の所属するプログラムに加え、さらにもう一つのプログラムを修了することが可能です。

### (1) 各プログラムの修了要件

プログラムごとの修了要件は以下の通りです。

生物生産科学コース  
生物生産科学プログラム (AP)

対象科目	必要単位数
生物生産科学概論Ⅰ 生物生産科学概論Ⅱ	この中から 1 単位以上
生産環境科学Ⅰ 生産環境科学Ⅱ 植物生産科学Ⅰ 植物生産科学Ⅱ 動物生産科学Ⅰ 動物生産科学Ⅱ 生物生産科学特論Ⅰ 生物生産科学特論Ⅱ 生物生産科学特論Ⅲ	この中から 2 単位以上
計	3 単位以上

生物生産科学コース  
生物制御科学プログラム (CP)

対象科目	必要単位数
生物生産科学概論Ⅰ 生物生産科学概論Ⅱ	この中から 1 単位以上
生物制御科学Ⅰ 生物制御科学Ⅱ 生物制御科学Ⅲ 生物制御科学Ⅳ 生物生産科学特論Ⅳ	この中から 6 単位以上
計	7 単位以上

応用生命化学コース  
応用生命化学プログラム (LP)

対象科目	必要単位数
応用生命化学概論Ⅰ 応用生命化学概論Ⅱ	この中から 1 単位以上
生体分子化学Ⅰ 生体分子化学Ⅱ 生理生化学Ⅰ 生理生化学Ⅱ 健康長寿科学Ⅰ 健康長寿科学Ⅱ	この中から 4 単位以上
応用生命化学特論Ⅰ 応用生命化学特論Ⅱ 応用生命化学特論Ⅲ 応用生命化学特論Ⅳ 応用生命化学特論Ⅴ 応用生命化学特論Ⅵ	この中から 2 単位以上
計	7 単位以上

自然環境資源コース  
環境資源物質科学プログラム (RP)

対象科目	必要単位数
自然環境資源学概論Ⅰ	必修 1 単位
環境資源材料学Ⅰ 環境資源材料学Ⅱ 資源機能制御学Ⅰ 資源機能制御学Ⅱ	この中から 4 単位以上
自然環境資源学特論Ⅰ 自然環境資源学特論Ⅱ 自然環境資源学特論Ⅲ 自然環境資源学特論Ⅳ	この中から 4 単位以上
計	9 単位以上

自然環境資源コース  
物質循環環境科学プログラム (EP)

対象科目	必要単位数
自然環境資源学概論Ⅱ	必修 1 単位
環境生物学Ⅰ 環境生物学Ⅱ 環境化学Ⅰ 環境化学Ⅱ	必修 8 単位
自然環境資源学特論Ⅴ 自然環境資源学特論Ⅵ 自然環境資源学特論Ⅶ 自然環境資源学特論Ⅷ	この中から 2 単位以上
計	11 単位以上

自然環境資源コース  
自然環境保全学プログラム (NP)

対象科目	必要単位数
自然環境資源学概論Ⅰ	必修 1 単位
生態系保全学Ⅰ 生態系保全学Ⅱ 生態系保全学Ⅲ 森林環境保全学Ⅰ 森林環境保全学Ⅱ 森林環境保全学Ⅲ 自然環境資源学特論Ⅸ 自然環境資源学特論Ⅹ	この中から 8 単位以上
計	9 単位以上

食農情報工学コース  
食農情報工学プログラム (TP)

対象科目	必要単位数
食農情報工学概論Ⅰ 食農情報工学概論Ⅱ	この中から 1 単位以上
地域環境工学Ⅰ 地域環境工学Ⅱ 地域環境工学Ⅲ 生物生産工学Ⅰ 生物生産工学Ⅱ 生物生産工学Ⅲ	この中から 6 単位以上
計	7 単位以上

地球社会学コース  
地球社会学プログラム (SP)

対象科目	必要単位数
地球社会学概論Ⅰ 地球社会学概論Ⅱ	この中から 1 単位以上
共生人間学Ⅰ 共生人間学Ⅱ 環境社会関係学Ⅰ 環境社会関係学Ⅱ 食料環境経済学Ⅰ 食料環境経済学Ⅱ 食料環境経済学Ⅲ 地球社会学特論Ⅰ	この中から 2 単位以上
計	3 単位以上

国際イノベーション農学コース  
国際イノベーション農学プログラム (IP)

対象科目	必要単位数
国際イノベーション農学概論Ⅰ 国際イノベーション農学概論Ⅱ	この中から 1 単位以上
国際環境修復保全学Ⅰ 国際環境修復保全学Ⅱ 国際生物生産資源学Ⅰ 国際生物生産資源学Ⅱ 国際応用生命化学Ⅰ 国際応用生命化学Ⅱ 国際地域開発学Ⅰ 国際地域開発学Ⅱ 国際応用動物学Ⅰ 国際応用動物学Ⅱ 国際イノベーション農学特論Ⅰ	この中から 6 単位以上
計	7 単位以上

## (2) ダブルプログラム修了

以下の条件を満たした場合、自身の所属するプログラムに加え、さらにもうひとつ他のプログラムを修了する、ダブルプログラム修了が可能です。ダブルプログラム修了をおこなった場合、学位記には二つのプログラム名が記載されます。

### ダブルプログラム修了要件

- 1) 1 年次または2年次前期の履修登録期間内に、指導教員の許可を得て「大学院農学府他プログラム履修申請書」を教務係に提出すること。
- 2) 修了を希望する他プログラムの修了要件単位を修得すること。
- 3) 選択必修科目である論文関連科目の特別研究は、修了を希望する他プログラムに所属する同一の指導教員(副)が担当する「農学展開研究Ⅰ」(10月入学者の場合はⅢ)及び「農学展開研究Ⅱ」(10月入学者の場合はⅣ)の組み合わせで修得すること。

※ 論文関連科目の履修については23ページも参照のこと。

### 3 履修方法について

#### (1) WEB 履修不可科目の履修登録方法

履修登録は所定の期間に SPICA を通じて行うのが原則ですが、教育課程表(26～28 ページ)に「WEB 履修不可」と記載されている科目は例外で、SPICA から履修登録することができません。それぞれの科目ごとに定められた以下の方法で履修登録してください。

##### 【農と工の科学概論】

食料エネルギーシステム科学専攻(BASE)で開講される所定の対象科目のうち、一つを選択、合格することで単位が認定される科目。対象科目の一覧はシラバスを参照のこと。

**履修登録時期** 受講を希望する科目が開講される学期の履修登録期間。

**履修登録方法** 教務係窓口で配布する「科目振替申告届」に必要事項を記入し、授業担当教員の許可を得た上、履修登録期間内に教務係窓口に提出のこと。

##### 【農学課題別演習】

自身の研究成果を学会において発表するとともに、自身の研究に関連する発表を聞いて質疑応答に参加することで単位を認定する科目です。詳細はシラバスを参照し、認定の対象となる学会については指導教員に確認のこと。

##### 【国内外特別演習】

修士論文研究のための留学や共同研究、国内外の企業や研究機関等のインターンシップや各コース・プログラムで企画された宿泊研修旅行などの企画に参加し、活動する。事前の学習、実施報告書の作成と発表などを行うことで単位を認定する科目です。詳細はシラバス参照し、認定の対象となる活動については指導教員に確認のこと。

農学課題別演習および国内外特別演習の履修登録は、履修登録期間外であっても随時申請できます。

履修登録に必要な書類、提出期限は、次頁のとおりです。

農学専攻 「農学課題別演習」及び「国内外特別演習」の履修に必要な書類一覧

科目	必要書類	書類の提出先・提出期限	備考
農学課題別演習 (学会発表等)	【国内の場合】 ・履修登録届(学外実習等用) <sup>※1</sup> ・学外研究届・国内(付表A-1)	教務第1係 実施日の1週間前	※1 履修・単位に関する相談は、 教務第一係に相談のこと。
	【海外の場合】 ・履修登録届(学外実習等用) <sup>※1</sup> ・渡航届(付表B) ・海外渡航誓約書 ・海外旅行保険の加入内容コピー ・留学願 <sup>※2</sup>	教務第2係 渡航日の2週間前 <sup>※2</sup>	※2 本学または姉妹校協定に基づき 留学プログラムを用いて渡航する場合は、「留学願」と共に渡航する2ヵ月前の20日までに教務第2係に提出してください。
国内外特別演習 (修士論文研究等のための留学の場合)	・履修登録届(学外実習等用) <sup>※1</sup> ・渡航届(付表B) ・海外渡航誓約書 ・海外旅行保険の加入内容コピー ・留学願 <sup>※2</sup>	教務第2係 渡航日の2週間前	※1 履修・単位に関する相談は、 教務第一係に相談のこと。 ※2 本学または姉妹校協定に基づき 留学プログラムを用いて渡航する場合は、「留学願」と共に渡航する2ヵ月前の20日までに教務第2係に提出してください。
国内外特別演習 (国内外企業・団体等のインターンシップの場合)	【国内の場合】 ・履修登録届(学外実習等用) ・学外研究届・国内(付表A-1) ・インターンシップ等申請依頼書 ・インターンシップ等実施報告書 ・インターンシップ等修了報告書 ・依頼状 <sup>※1</sup> ----- 【海外の場合】 ・履修登録届(学外実習等用) ・その他必要な書類 (教務第一係窓口にご相談)	教務第1係 実施日の1ヵ月前	※1 研修・インターン先によって依頼状の様式または記載事項が指定されている場合は、その指示に則って作成した依頼状を併せて提出してください。特に指定がない場合は本学の定型様式により送付しますので不要です。
国内外特別演習 (コース・プログラムが主催する宿泊研修等の場合)	・履修登録届(学外実習等用) ・学外研究届・国内(付表A-1) <sup>※1</sup>	教務第1係 実施日の1週間前	※1 コース・プログラム研修担当教員が取りまとめを行う場合はその指示に従ってください。

- ・上記に示したのは、履修登録手続きのために必要な書類のみです。
- ・指導教員又は研修担当教員から、成績評価のために事前計画書や発表資料、レポート課題、成果報告書等の提出を別途指示されることがあります。

※ 様式は50頁のVIII. 各種様式集を参考の上、WEB掲示板からダウンロードしてください。

※ 内容に変更があった場合は、WEB掲示板で案内します。



## 【国際研究プレゼンテーションⅠ・Ⅱ】

農学特別研究や農学展開研究の成果を修士論文に纏めるための中間発表を行うことで単位を認定する科目です。全体オリエンテーションは10月初旬に開催され、オリエンテーションへの参加は必須となっています。なお、全体オリエンテーションの日時・場所等の詳細については、9月初旬までにWEB掲示板に掲載します。単位認定は、在学期間中に国際研究プレゼンテーション演習Ⅰ（日本語）又は国際研究プレゼンテーション演習Ⅱ（英語）のいずれか1単位のみです。

各プログラムの日程は、随時、WEB掲示板から案内します。

本科目の履修登録は、オリエンテーションの参加をもって履修登録に代えるため、別途履修登録を行う必要はありません。

## （2）論文関連科目の履修について

「特別研究」及び「特別演習」の2つの科目区分からなる論文関連科目は、履修登録自体は通常の科目と同様、各自SPICAから行います。ただし履修の時期、科目選択、指導教員（副）の選定については、指導教員に相談の上で決定する必要があります。

科目により、自身のプログラムごと、または指導教員ごとに履修登録に使用する時間割番号が異なりますので注意してください。（詳細は32～34ページを参照）

### 1) 特別研究

4月入学者はA群、10月入学者はB群の科目を履修してください。

#### 【農学特別研究Ⅰ】（4月入学者）

#### 【農学特別研究Ⅲ】（10月入学者）

通年科目として指導教員（主）が担当する必修科目です。1年次の履修が標準ですが、指導教員が教育上有益と認める場合は履修年次の変更も可能です。指導教員と相談の上、最終的に決定してください。

#### 【農学特別研究Ⅱ】指導教員（主）（4月入学者）

#### 【農学展開研究Ⅰ】指導教員（副）（ 〃 ）

#### 【農学展開研究Ⅱ】指導教員（副）（ 〃 ）

#### 【農学特別研究Ⅳ】指導教員（主）（10月入学者）

#### 【農学展開研究Ⅲ】指導教員（副）（ 〃 ）

#### 【農学展開研究Ⅳ】指導教員（副）（ 〃 ）

3科目のうち2科目を修得する必要がある選択必修科目です。修士論文作成に対する指導教員（副）の関与が大きい場合、4月入学生は「農学展開研究Ⅰ」「農学展開研究Ⅱ」を、10月入学生は「農学展開研究Ⅲ」「農学展開研究Ⅳ」の2科目の組み合わせで履修してください。

それ以外の場合、4月入学生は「農学特別研究Ⅱ」「農学展開研究Ⅰ」、10月入学生は「農学特別研究Ⅳ」「農学展開研究Ⅲ」の2科目の組み合わせで履修してください。

## 2) 特別演習

4月入学者はⅠ，10月入学者はⅡを履修してください。

【農学特別演習Ⅰ】（4月入学者）

【農学特別演習Ⅱ】（10月入学者）

【論文レビュー特別演習Ⅰ】（4月入学者）

【論文レビュー特別演習Ⅱ】（10月入学者）

指導教員（主）が担当する必修科目。1年次の履修が標準ですが，指導教員が教育上有益と認める場合は履修年次の変更も可能です。指導教員と相談の上，最終的に決定してください。

## VIII. 学位授与の申請

学位授与の申請方法は、「東京農工大学大学院農学府修士課程学位審査取扱要項」によりますが、学位審査関係日程および申請書等の配布時期は、3月修了は11月下旬頃、9月修了は5月下旬頃です。掲示等によりその都度周知しますので、注意してください。また、学位論文審査基準等は、本学ホームページ（農学府のカリキュラム）に掲載されていますので、参照してください。

### 東京農工大学大学院農学府修士課程学位審査取扱要項

（目的）

第1条 この要項は、東京農工大学学則、東京農工大学学位規程（以下「学位規程」という。）及び東京農工大学大学院農学府教育規則に定めるもののほか、農学府の修士課程における学位審査について必要な事項を定めることを目的とする。

（学位論文審査の申請）

第2条 学位論文の審査を申請する者は、次の各号の申請書類を添えて、指導教員の承認を得たのち、学府長に提出する。

- |                    |    |
|--------------------|----|
| (1) 学位論文審査申請書（様式1） | 1部 |
| (2) 修士論文           | 1部 |
| (3) 論文要旨（様式2）      | 1部 |

（申請書類の提出期限）

第3条 申請書類提出期限は毎年2月上旬の別に定める日とする。ただし、標準修業年限を超えて在学する者又はその年限を短縮する者で9月修了を希望する場合並びに10月入学者にあっては、7月上旬の別に定める日とする。

（論文審査の付託及び審査委員の選出）

第4条 学府長は、学位論文審査の申請を受理したときは、農学府・農学部教授会（以下「教授会」という。）にその審査を付託するものとする。

- 2 教授会は、学位規程第9条の規定に基づき、審査委員を選出する。この場合、審査委員のうち1人は審査委員主査として選出する。

（学位論文審査及び最終試験）

第5条 審査委員は、学位論文審査及び最終試験を行う。

- 2 最終試験は、学位論文を中心としてこれに関連のある科目又は専門分野等について口頭又は筆記により行う。
- 3 最終試験は必要に応じ、審査委員のほかに当該プログラムの教授、准教授及び講師を加えることができる。

（審査結果の報告）

第6条 審査委員主査は、論文審査及び最終試験を終了したときは、論文審査及び最終試験の結果の報告書（様式3）を、プログラム責任者を経て学府長に提出する。

（学位論文の保管）

第7条 審査に合格した学位論文の正本は、本学図書館で保管するものとする。

- 2 学位論文の要旨は、一括製本し本学図書館に保管を委託し、閲覧に供するものとする。

（その他）

第8条 この要項に定めるもののほか、農学府の修士課程における学位論文の審査申請及び保管について必要な事項は、別に定める。

# IX. 教育課程表および教育研究内容

科目区分	科目名	単位数	担当教員 ( )非常勤 [ ]非常勤窓口教員	時間割番号	標準 開講学期	
共通基礎科目	21世紀農学特論	◎1	加藤ほか専攻教員	cf0014	1学期	R3日本語・R4英語 集中
	生物生産科学概論Ⅰ	1	夏目ほかCP教員	cf0001	2学期	
	生物生産科学概論Ⅱ	1	新村ほかAP教員	cf0002	3学期	集中
	応用生命化学概論Ⅰ	1	野村ほかLC教員	cf0003	2学期	
	応用生命化学概論Ⅱ	1	山形ほかLC教員	cf0004	2学期	集中
	自然環境資源学概論Ⅰ	1	半ほかRP教員	cf0005a	1学期	
			NP教員	cf0005b	1学期	
	自然環境資源学概論Ⅱ	1	EP教員	cf0006	3学期	
	食農情報工学概論Ⅰ	1	帖佐・山下	cf0007	2学期	
	食農情報工学概論Ⅱ	1	辰己・福田	cf0008	4学期	
	地球社会学概論Ⅰ	1	吉田ほかSC教員	cf0009	2学期	集中
	地球社会学概論Ⅱ	1	野見山ほかSC教員	cf0010	4学期	集中
	国際イノベーション農学概論Ⅰ	1	五味ほかIC教員	cf0011	1学期	英語開講
	国際イノベーション農学概論Ⅱ	1	岡崎ほかIC教員	cf0012	3学期	英語開講
	農と工の科学概論	1	BASE教員	cf0013	1学期	WEB履修不可・日/英開講
	異文化コミュニケーション学	2	田崎	cf0015	3学期	英語開講
	Advanced lecture of Green, Food, and Life science	1	GIR教員・吉田	cf0016	3学期	集中・英語開講
	Arts of Intercultural Communication	2	東京外語大教員	cf0017	1学期	英語開講
	農学特論Ⅰ	1	IC招聘教員	cf0018	3学期	集中・英語開講
	農学特論Ⅱ	2	(齋藤和)[桂]	cf0019	1学期	集中・英語開講
日本語Ⅰ	2	本郷	cf0020	3学期	留学生用科目・修了要件外	
日本語Ⅱ	2	伊藤	cf0021	1学期		
共通演習科目	農学実験計画法および統計解析演習Ⅰ	1	(深野)[佐藤俊]	ce0001a	1学期	集中
			(古崎)[三浦]	ce0001b	1学期	集中
			(奥田)[赤坂]	ce0001c	1学期	集中
			(川森)[赤坂]	ce0001d	1学期	集中
	農学実験計画法および統計解析演習Ⅱ	1	(阿部)[佐藤俊]	ce0002	3学期	集中・英語開講
	フィールド・ラボ安全管理と研究倫理Ⅰ	1	(調)[五味]	ce0003	1学期	一部集中・英語開講
	フィールド・ラボ安全管理と研究倫理Ⅱ	1	(調)[五味]	ce0004	3学期	
	知財の管理と運用	1	(田坂)[五味]	ce0005	1学期	
	空間情報解析演習	1	(岩男)[山下]	ce0006	1・3学期	集中・英語開講(偶数年3学期)
	農学課題別演習	1	指導教員	ce0007	通年	WEB履修不可
	国内外特別演習	1	指導教員	ce0008	通年	WEB履修不可
	国際研究プレゼンテーション演習Ⅰ	○1	指導教員	ce0009	通年	WEB履修不可(日本語)
	国際研究プレゼンテーション演習Ⅱ	○1	指導教員	ce0010	通年	WEB履修不可(英語)
	農学演習Ⅰ	2	IC教員	ce0011	通年	ダブルディグリー専用
	農学演習Ⅱ	2	IC教員	ce0012	通年	ダブルディグリー専用
農学演習Ⅲ	2	IC教員	ce0013	通年	ダブルディグリー専用	
農学演習Ⅳ	2	IC教員	ce0014	通年	ダブルディグリー専用	
農学演習Ⅴ	2	IC教員	ce0015	通年	ダブルディグリー専用	

※ダブルディグリープログラムについてはWEB掲示板を参照のこと。

科目 区分	科目名	単 位 数	担当教員 ( )非常勤 [ ]非常勤窓口教員	時間割番号	標準 開講学期		
専 門 科 目	生物生産科学Ⅱー入	生産環境科学Ⅰ	2	大津・本林・杉村	ac0001	1 学期	
		生産環境科学Ⅱ	2	杉原・田中治・伴	ac0002	3 学期	
		植物生産科学Ⅰ	2	金勝・山田哲	ac0003	1 学期	
		植物生産科学Ⅱ	2	大川・鈴木栄	ac0004	3 学期	
		動物生産科学Ⅰ	2	新井克・新村	ac0005	1 学期	
		動物生産科学Ⅱ	2	横山・天竺桂・伊藤	ac0006	3 学期	
		生物制御科学Ⅰ	2	川出・平岡・小松	ac0007	1 学期	
		生物制御科学Ⅱ	2	有江・井上・笠原	ac0008	3 学期	一部集中
		生物制御科学Ⅲ	2	福原・夏目・(中村)	ac0009	1 学期	一部集中
		生物制御科学Ⅳ	2	仲井・森山・(中嶋)	ac0010	3 学期	一部集中
		生物生産科学特論Ⅰ	1	(小松崎・藤井)[本林・杉原]	ac0011	2 学期	集中
		生物生産科学特論Ⅱ	1	(肥塚・菅野)[鈴木栄・金勝]	ac0012	2 学期	集中
		生物生産科学特論Ⅲ	1	(西山・岩永)[新井克・横山]	ac0013	2 学期	集中
		生物生産科学特論Ⅳ	1	(野村・鎌倉)[森山・有江]	ac0014	2 学期	集中
	応用生命化学Ⅱー入	生体分子化学Ⅰ	2	北野ほか	lc0101	1 学期	
		生体分子化学Ⅱ	2	好田・服部・野村・宮田	lc0102	3 学期	
		生理生化学Ⅰ	2	三浦ほか	lc0103	1 学期	
		生理生化学Ⅱ	2	殿塚ほか	lc0104	3 学期	
		健康長寿科学Ⅰ	2	(非常勤)[西河]	lc0105	1 学期	
		健康長寿科学Ⅱ	2	(非常勤)[西河]	lc0106	3 学期	
		応用生命化学特論Ⅰ	1	(内田・萬谷)[西河]	lc0107	1 学期	集中・隔年(R3 開講)
		応用生命化学特論Ⅱ	1	(重本・上住)[西河]	lc0108	1 学期	集中・隔年(R4 開講)
		応用生命化学特論Ⅲ	1	(保坂)[三浦]	lc0109	3 学期	集中・隔年(R3 開講)
		応用生命化学特論Ⅳ	1	(大藤)[佐々木信]	lc0110	1 学期	集中・隔年(R4 開講)
		応用生命化学特論Ⅴ	1	(中島)[川合]	lc0111	3 学期	集中・隔年(R3 開講)
		応用生命化学特論Ⅵ	1	(館川・矢追)[北野]	lc0112	2 学期	集中・隔年(R4 開講)
	環境資源材料学Ⅰ	環境資源材料学Ⅰ	2	四方	ec0101a	1 学期	隔年(R4 開講)
			芳賀	ec0101b	1 学期	隔年(R4 開講)	
		環境資源材料学Ⅱ	2	高柳	ec0102a	3 学期	隔年(R3 開講)
			佐藤	ec0102b	3 学期	隔年(R3 開講)	
			安藤	ec0102c	3 学期	隔年(R3 開講)	
		資源機能制御学Ⅰ	2	粕谷・近江・堀川	ec0103	1 学期	隔年(R3 開講)
		資源機能制御学Ⅱ	2	船田・吉田誠・小瀬・半	ec0104	3 学期	隔年(R4 開講)
		環境生物学Ⅰ	2	大地・渡辺誠・松田	ec0105	1 学期	
		環境生物学Ⅱ	2	伊豆田・多羅尾	ec0106	3 学期	
		環境化学Ⅰ	2	高田・中嶋・水川	ec0107	1 学期	
	環境化学Ⅱ	2	梅澤有・楊・渡邊泉	ec0108	3 学期		
	自然環境資源Ⅱー入	生態系保全学Ⅰ	2	金子・鈴木馨	ec0109a	1 学期	一部集中
			金子・宇野	ec0109b	1 学期		
			宇野・鈴木馨	ec0109c	1 学期		
		生態系保全学Ⅱ	2	吉川・赤坂	ec0110	1 学期	一部集中
			2	下田・福本	ec0111	3 学期	一部集中
		森林環境保全学Ⅰ	2	戸田・崔	ec0112a	1 学期	
			戸田・白木	ec0112b	1 学期		
白木・崔			ec0112c	1 学期			
森林環境保全学Ⅱ		2	岩岡・松本	ec0113a	1 学期		
		岩岡・加用	ec0113b	1 学期			
		加用・松本	ec0113c	1 学期			
森林環境保全学Ⅲ		2	吉田智・小池	ec0114	1 学期	一部集中	
自然環境資源学特論Ⅰ		2	(非常勤)[小瀬・安藤]	ec0115	1・2 学期	集中	
自然環境資源学特論Ⅱ		2	(足立・宮澤)[四方・芳賀]	ec0116	3・4 学期	集中	
自然環境資源学特論Ⅲ	2	(非常勤)[佐藤・堀川]	ec0117	1・2 学期	集中		
自然環境資源学特論Ⅳ	2	(非常勤)[近江・船田]	ec0118	3・4 学期	集中		
自然環境資源学特論Ⅴ	2	(非常勤)[多羅尾・渡邊泉]	ec0119	1・2 学期	集中・隔年(R3 開講)		
自然環境資源学特論Ⅵ	2	(非常勤)[渡辺誠・伊豆田]	ec0120	3・4 学期	集中・隔年(R4 開講)		
自然環境資源学特論Ⅶ	2	(非常勤)[松田・梅澤有]	ec0121	1・2 学期	集中・隔年(R3 開講)		
自然環境資源学特論Ⅷ	2	(非常勤)[中嶋・高田]	ec0122	3・4 学期	集中・隔年(R4 開講)		
自然環境資源学特論Ⅸ	2	(非常勤)[戸田・松本]	ec0123	2 学期	集中		
自然環境資源学特論Ⅹ	2	(非常勤)[鈴木馨・吉川・吉田智・赤坂]	ec0124	3 学期	集中		

専 門 科 目	食 農 情 報 工 学 コ ー ス	地域環境工学Ⅰ	2	斎藤	tc0001	1 学期	集中
		地域環境工学Ⅱ	2	中島	tc0002	1 学期	
		地域環境工学Ⅲ	2	福田	tc0003	1 学期	
		生物生産工学Ⅰ	2	辰己・山下	tc0004	3 学期	
		生物生産工学Ⅱ	2	帖佐・東城	tc0005	1 学期	
		生物生産工学Ⅲ	2	酒井	tc0006	3 学期	
		食農情報工学特論Ⅰ	2	(非常勤)[辰己・斎藤]	tc0007	2 学期	
	地 球 社 会 学 コ ー ス	共生人間学Ⅰ	2	R3 澤・R4 大倉	sc0001	1 学期	
		共生人間学Ⅱ	2	高橋・竹本	sc0002	1 学期	
		環境社会関係学Ⅰ	2	R3 吉田央・R4 渡邊司	sc0003	1 学期	
		環境社会関係学Ⅱ	2	R3 榎本・R4 朝岡	sc0004	3 学期	
食料環境経済学Ⅰ		2	R3 新井祥・R4 山崎	sc0005	1 学期		
食料環境経済学Ⅱ		2	千年・草刈	sc0006	3 学期		
食料環境経済学Ⅲ		2	野見山・観山	sc0007	1 学期		
地球社会学特論Ⅰ	2	(非常勤)[SC 教育委員]	sc0008	1 学期			
国 際 イ ノ ベ ー シ ョ ン 農 学 コ ー ス	国際環境修復保全学Ⅰ	2	五味	ic0001	1 学期	英語開講	
	国際環境修復保全学Ⅱ	2	渡邊裕・加藤	ic0002	1 学期	英語開講	
	国際生物生産資源学Ⅰ	2	及川・岡崎・桂	ic0003	1 学期	英語開講	
	国際生物生産資源学Ⅱ	2	桂・及川・岡崎	ic0004	1 学期	英語開講	
	国際応用生命化学Ⅰ	2	三浦ほか LC 教員	ic0005	1 学期	英語開講・隔年(R4 開講)	
	国際応用生命化学Ⅱ	2	(非常勤)[山形]	ic0006	3 学期	英語開講・隔年(R3 開講)	
	国際地域開発学Ⅰ	2	川端・轟	ic0007	3 学期	英語開講	
	国際地域開発学Ⅱ	2	山田祐・轟	ic0008	3 学期	英語開講	
	国際応用動物学Ⅰ	2	竹原ほか IC 教員	ic0009	1 学期	英語開講	
	国際応用動物学Ⅱ	2	打出ほか IC 教員	ic0010	3 学期	英語開講	
	国際イノベーション農学特論Ⅰ	2	(榎原)[桂]	ic0011	3 学期	英語開講	
論 文 関 連 科 目	特 別 研 究 A	農学特別研究Ⅰ	◎4	指導教員(主)	プログラム・ 教員ごとに 番号が異なるため 「X. プロ グラム別論 文関連科目 コード表」 を参照。	通年 (1 年次)	4 月入学者は A 群, 10 月入学者は B 群から選 択し, 6 単位修得する こと。
		農学特別研究Ⅱ	○1	指導教員(主)		通年 (2 年次)	
		農学展開研究Ⅰ	○1	指導教員(副)		通年 (1 年次)	
		農学展開研究Ⅱ	○1	指導教員(副)		通年 (1 年次)	
	特 別 研 究 B	農学特別研究Ⅲ	◎4	指導教員(主)		変則通年 (1 年次)	
		農学特別研究Ⅳ	○1	指導教員(主)		変則通年 (2 年次)	
		農学展開研究Ⅲ	○1	指導教員(副)		変則通年 (1 年次)	
		農学展開研究Ⅳ	○1	指導教員(副)		変則通年 (1 年次)	
	特 別 演 習	農学特別演習Ⅰ	◎4	指導教員(主)		通年 (1 年次)	4 月入学者は I, 10 月 入学者は II を選択する こと。
		農学特別演習Ⅱ	◎4	指導教員(主)		変則通年 (1 年次)	
		論文レビュー特別演習Ⅰ	◎2	指導教員(主)		通年 (1 年次)	
		論文レビュー特別演習Ⅱ	◎2	指導教員(主)		変則通年 (1 年次)	

- (1) ◎印は必修科目, ○印は選択必修科目
- (2) 共通基礎科目・共通演習科目・専門科目・強化科目・他学府科目・あわせて 18 単位以上, 論文関連科目 12 単位, 合計 30 単位以上修得すること。ただし, 強化科目 4 単位, 他学府科目は 2 単位を上限とする。
- (3) 共通基礎科目からは, 自コースの概論 1 単位, 他コースの概論 1 単位, ◎印の必修科目 1 単位を含め, 4 単位以上必ず修得すること。
- (4) 共通演習科目からは, ○印の選択必修科目 1 単位を含め, 2 単位以上必ず修得すること。
- (5) 専門科目からは, 自コースの科目 2 単位以上とし, あわせて 4 単位以上必ず修得すること。
- (6) 論文関連科目からは, 特別研究の区分から 6 単位, 特別演習の区分から 6 単位, あわせて 12 単位を修得すること。
- (7) 複数の時間割番号が付されている科目は, 異なる内容の複数のクラスが開講される科目である。  
自身の受講するクラスの時間割番号で履修登録すること。たとえ内容が異なっても同一科目の単位を重複して修得することはできない。
- (8) 課程修了の要件として, 自身が所属するプログラムを必ず修了すること。プログラムごとの修了要件は 19~20 ページを参照。

## (1) 教育方針

農学専攻は、伝統的な農学とその関連分野の知識や技術的な体系を習得するのみならず、人々の生活や地域づくりの視点、食から健康までの幅広い農学分野をも網羅しつつ、国際舞台で活躍できる人材を養成することを目的とする。上記の教育目的を達成するため、以下の能力を身につけるための教育研究を実施する。

1. 持続的社会に必要な人口・食料・資源・環境問題の解決に不可欠である、食糧・健康・生命機能・生物資源・資源管理・情報・農村社会基盤などの農林学や生命科学に関する高度専門知識と技術力
2. 個々の専門領域において個別の専門性を身につけながら、社会の持続的発展のための貢献を使命とし、自然と人間および社会に関して深い理解と洞察をなす。俯瞰的視野を持ち国際人として活躍できる素養と教養
3. 課題探求能力を持ち、社会要請にこたえて科学的手法を駆使して現場に立脚した問題解決を図ることができ、かつ、研究倫理を尊び、自ら研究・調査した結果を報文や論文としてまとめ、学会や国際会議などで発表できる能力
4. 豊かなコミュニケーション能力を備え、諸外国の歴史や文化を理解し、専門性と学際性を両立させながら、国際社会において指導的立場で活躍できる能力

## (2) 各コース・プログラムの特徴

農学専攻内には、専門性を深める教育研究の柱として、6つのコースと9つのプログラムを配置する。それぞれのコース・プログラムの特徴は以下のとおり。

### 生物生産科学コース

育種、生産、植物保護、品質管理に至る食料生産の効率化と最適化を实践でき、安心・安全な食料生産を実現できる専門知識と技術を養成し、生物機能の解明を通じて新たな生物生産や植物保護における科学の進展と新たな技術開発を行う専門性を育成する。

#### 【生物生産科学プログラム】

生物の生産環境と生産技術や、植物生産・動物生産の基盤となる科学と技術についての専門性を養成する。

#### 【生物制御科学プログラム】

植物、昆虫、微生物などの生物制御および生物間相互作用に関する研究分野において植物保護に資する専門性を養成する。

### 応用生命化学コース

#### 【応用生命化学プログラム】

食と健康を一体化し、社会や環境変化に対応できる生物新機能や創薬開発を实践でき、有用性生物機能の解明や技術開発の専門性を育成する。

### 自然環境資源コース

変動環境下における水・土・生物・大気の諸現象を把握し、複雑な農林業の諸課題を総合的に解決できる知識と技術などレジリエントな社会構築に必要な専門性を養成する。

#### 【環境資源物質科学プログラム】

植物を中心としたバイオマスなどの資源物質に対して構造や機能解析，利用技術の開発，利用における環境負荷の低減化を实践でき，持続可能社会構築に必要となる技術開発の専門性を育成する。

#### 【物質循環環境科学プログラム】

物質循環の諸要因と環境汚染の現状，生態系への影響を環境モニタリングや実験などにより解明し，自然環境の将来予測とその適切な修復方法を提案・実行するための専門性を養成する。

#### 【自然環境保全学プログラム】

土，水，野生生物，森林，山地，都市，人間を対象に，生産と保護を融和させるための多様な知見と技術を習得し，自然資源の持続的利用と自然環境の保護・回復に関わる保全学の知見から考えることのできる人材を育成する。

### 食農情報工学コース

#### 【食農情報工学プログラム】

食料の持続的生産と供給に向けた地域から地球規模での様々な課題解決のため，社会基盤の構築，生産技術の開発および食の安全に資する情報技術と専門性を農学・工学双方の観点から養成する。

### 地球社会学コース

#### 【地球社会学プログラム】

現代における人類の焦眉の課題である環境共生型の持続社会の構築のために，農学諸分野の科学技術の基礎知識を踏まえつつ，人文社会科学に基づく問題発見と分析，課題解決のための企画・課題遂行・調整などを行うことのできる専門性を養成する。

### 国際イノベーション農学コース

#### 【国際イノベーション農学プログラム】

農業や環境分野の課題に対して，言語や文化などの境界を越えて，自らファシリテータとなり議論を進めることができ，課題解決へのロードマップを構築・実践することができる専門知識と技術を養成する。

## (3) カリキュラム

授業科目は，共通基礎科目・共通演習科目・専門科目・論文関連科目に区分される。それぞれの主な内容は次のとおりである。

#### 【共通基礎科目】

高度専門職業人および博士課程への基礎的素養として，農学と工学や人文・社会科学などの関連分野の基礎を幅広く理解し，次世代農学を駆使した持続可能社会を構築するための基本的な知識を学ぶことができる科目群である。各コースの概論とともに，農工大の特色である，分野横断型の科目である「21世紀農学特論」を必修科目とし，「農と工の科学概論」や，双方向のコミュニケーション能力を，「異文化コミュニケーション学」，世界先進的な研究を多面的に学べる，本学グローバル研究院の外国人教員による，「Advanced lecture of Green, Food, and Life science」などで身につける。留学生向けには，日本での研究活動を円滑に進めるための言語支援として，「日本語Ⅰ」「日本語Ⅱ」が開講される。



#### 【共通演習科目】

農学とその関連分野において、世界基準での基礎的素養である、フィールドやラボの安全管理、生命倫理・研究倫理・国際法規などを身につけるとともに、統計学などの基礎解析機能、地理情報システム(GIS)を用いた空間情報解析など実践的素養を醸成する。「農業実験計画法および統計解析演習Ⅰ」は、分野ごとに異なる実験計画の立て方や統計処理の方法を自身の研究分野に応じて身につけられるよう、専門分野の異なる複数の講師により開講される。また、農学分野における俯瞰的かつ横断的な科学的視野を育成することを目的とした「国際研究プレゼンテーション演習Ⅰ（又はⅡ）」を選択必修科目として実施する。

#### 【専門科目】

農学分野の課題解決に必要である伝統的な専門知識と技術を深めるとともに、最新の研究や知見に基づいた知見を習得する。

#### 【論文関連科目】

修士論文作成のための教育・研究を行う。論文関連科目は、特別研究、特別演習の二つの科目区分からなる。

特別研究の区分においては、指導教員（主）による「農学特別研究Ⅰ（又はⅢ）」（4単位）は必修とし、融合型の修士論文を実施する場合で論文作成に対する指導教員（副）の関与が大きい者は指導教員（副）の科目2単位を、そうでない者は指導教員（主）・指導教員（副）の科目それぞれ1単位ずつ履修する。

### （4）授業科目概要

各科目の授業内容についてはSPICA またはシラバス検索を参照のこと。

#### 【シラバス検索】

<http://spica.gakumu.tuat.ac.jp/syllabus/SearchMain.aspx?>



# X. プログラム別論文関連科目コード表

論文関連科目のうち、担当教員が指導教員（主）の科目（農学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ及び農学特別演習Ⅰ・Ⅱ、論文レビュー特別演習）については、自身の所属するプログラムごとに時間割番号が異なります。

一方、担当教員が指導教員（副）の科目（農学展開研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）については、担当教員ごとに時間割番号が異なります。

以下の表を参照の上、自身の所属するプログラムの時間割番号を使用して履修登録してください。

## 1 指導教員（主）科目コード表

所属プログラム	農学特別研究Ⅰ	農学特別研究Ⅱ	農学特別研究Ⅲ	農学特別研究Ⅳ	農学特別演習Ⅰ	農学特別演習Ⅱ	論文レビュー特別演習Ⅰ	論文レビュー特別演習Ⅱ
生物生産科学コース 生物生産科学プログラム	th1001	th1011	th2001	th2011	th1031	th2031	th1041	th2041
生物生産科学コース 生物制御科学プログラム	th1002	th1012	th2002	th2012	th1032	th2032	th1042	th2042
応用生命化学コース 応用生命化学プログラム	th1003	th1013	th2003	th2013	th1033	th2033	th1043	th2043
自然環境資源コース 環境資源物質科学プログラム	th1004	th1014	th2004	th2014	th1034	th2034	th1044	th2044
自然環境資源コース 物質循環環境科学プログラム	th1005	th1015	th2005	th2015	th1035	th2035	th1045	th2045
自然環境資源コース 自然環境保全学プログラム	th1006	th1016	th2006	th2016	th1036	th2036	th1046	th2046
食農情報工学コース 農業環境工学プログラム	th1007	th1017	th2007	th2017	th1037	th2037	th1047	th2047
地球社会学コース 共生持続社会学プログラム	th1008	th1018	th2008	th2018	th1038	th2038	th1048	th2048
国際イノベーション農学コース 国際イノベーション農学プログラム	th1009	th1019	th2009	th2019	th1039	th2039	th1049	th2049

## 2 指導教員（副）科目コード表（プログラム別・50音順）

### 生物生産科学コース生物生産科学プログラム

担当教員	農学 展開研究Ⅰ	農学 展開研究Ⅱ	農学 展開研究Ⅲ	農学 展開研究Ⅳ
新井 克彦	th1101	th1301	th2101	th2301
伊藤 克彦	th1237	th1437	th2237	th2437
大川 泰一郎	th1102	th1302	th2102	th2302
大津 直子	th1103	th1303	th2103	th2303
金勝 一樹	th1105	th1305	th2105	th2305
新村 毅	th1107	th1307	th2107	th2307
杉原 創	th1108	th1308	th2108	th2308
杉村 智史	th1109	th1309	th2109	th2309
鈴木 栄	th1110	th1310	th2110	th2310
田中 治夫	th1111	th1311	th2111	th2311
天竺桂 弘子	th1112	th1312	th2112	th2312
伴 琢也	th1113	th1313	th2113	th2313
本林 隆	th1114	th1314	th2114	th2314
山田 哲也	th1115	th1315	th2115	th2315
横山 岳	th1116	th1316	th2116	th2316

### 生物生産科学コース生物制御科学プログラム

担当教員	農学 展開研究Ⅰ	農学 展開研究Ⅱ	農学 展開研究Ⅲ	農学 展開研究Ⅳ
有江 力	th1117	th1317	th2117	th2317
井上 真紀	th1118	th1318	th2118	th2318
笠原 博幸	th1119	th1319	th2119	th2319
川出 洋	th1120	th1320	th2120	th2320
小松 健	th1121	th1321	th2121	th2321
仲井 まどか	th1122	th1322	th2122	th2322
夏目 雅裕	th1123	th1323	th2123	th2323
平岡 毅	th1124	th1324	th2124	th2324
福原 敏行	th1125	th1325	th2125	th2325
森山 裕充	th1126	th1326	th2126	th2326

### 応用生命化学コース応用生命化学プログラム

担当教員	農学 展開研究Ⅰ	農学 展開研究Ⅱ	農学 展開研究Ⅲ	農学 展開研究Ⅳ
内田 さえ*	th1243	th1443	th2243	th2443
川合 伸也	th1127	th1327	th2127	th2327
北野 克和	th1128	th1328	th2128	th2328
鈴木 絵里子	th1129	th1329	th2129	th2329
佐々木 信光	th1130	th1330	th2130	th2330
重本 和宏*	th1244	th1444	th2244	th2444
殿塚 隆史	th1132	th1332	th2132	th2332
西河 淳	th1133	th1333	th2133	th2333
野村 義宏	th1134	th1334	th2134	th2334
蓮見 恵司	th1135	th1335	th2135	th2335
服部 誠	th1136	th1336	th2136	th2336
松下 保彦	th1137	th1337	th2137	th2337
萬谷 博*	th1245	th1445	th2245	th2445
三浦 豊	th1138	th1338	th2138	th2338
宮田 真路	th1248	th1448	th2248	th2448
宮本 潤基	th1250	th1450	th2250	th2450
山形 洋平	th1139	th1339	th2139	th2339
好田 正	th1140	th1340	th2140	th2340

### 自然環境資源コース環境資源物質科学プログラム

担当教員	農学 展開研究Ⅰ	農学 展開研究Ⅱ	農学 展開研究Ⅲ	農学 展開研究Ⅳ
近江 正陽	th1142	th1342	th2142	th2342
粕谷 夏基	th1143	th1343	th2143	th2343
小瀬 亮太	th1247	th1447	th2247	th2447
佐藤 敏一	th1145	th1345	th2145	th2345
四方 俊幸	th1146	th1346	th2146	th2346
高柳 正夫	th1147	th1347	th2147	th2347
半 智史	th1148	th1348	th2148	th2348
芳賀 尚樹	th1149	th1349	th2149	th2349
船田 良	th1150	th1350	th2150	th2350
堀川 祥生	th1151	th1351	th2151	th2351
吉田 誠	th1152	th1352	th2152	th2352

※連携機関教員

### 自然環境資源コース物質循環環境科学プログラム

担当教員	農学 展開研究Ⅰ	農学 展開研究Ⅱ	農学 展開研究Ⅲ	農学 展開研究Ⅳ
伊豆田 猛	th1153	th1353	th2153	th2353
梅澤 有	th1154	th1354	th2154	th2354
大地 まどか	th1155	th1355	th2155	th2355
高田 秀重	th1156	th1356	th2156	th2356
多羅尾 光徳	th1157	th1357	th2157	th2357
中嶋 吉弘	th1158	th1358	th2158	th2358
松田 和秀	th1159	th1359	th2159	th2359
楊 宗興	th1160	th1360	th2160	th2360
渡邊 泉	th1161	th1361	th2161	th2361
渡辺 誠	th1162	th1362	th2162	th2362

### 自然環境資源コース自然環境保全学プログラム

担当教員	農学 展開研究Ⅰ	農学 展開研究Ⅱ	農学 展開研究Ⅲ	農学 展開研究Ⅳ
赤坂 宗光	th1163	th1363	th2163	th2363
岩井 紀子	th1164	th1364	th2164	th2364
岩岡 正博	th1165	th1365	th2165	th2365
金子 弥生	th1166	th1366	th2166	th2366
加用 千裕	th1167	th1367	th2167	th2367
小池 伸介	th1168	th1368	th2168	th2368
下田 政博	th1169	th1369	th2169	th2369
白木 克繁	th1170	th1370	th2170	th2370
鈴木 馨	th1171	th1371	th2171	th2371
崔 東寿	th1172	th1372	th2172	th2372
戸田 浩人	th1174	th1374	th2174	th2374
宇野 裕之	th1175	th1375	th2175	th2375
松本 武	th1176	th1376	th2176	th2376
吉川 正人	th1177	th1377	th2177	th2377
吉田 智弘	th1178	th1378	th2178	th2378

### 食農情報工学コース食農情報工学プログラム

担当教員	農学 展開研究Ⅰ	農学 展開研究Ⅱ	農学 展開研究Ⅲ	農学 展開研究Ⅳ
斎藤 広隆	th1179	th1379	th2179	th2379
酒井 憲司	th1180	th1380	th2180	th2380
辰己 賢一	th1181	th1381	th2181	th2381
帖佐 直	th1182	th1382	th2182	th2382
東城 清秀	th1183	th1383	th2183	th2383
中島 正裕	th1184	th1384	th2184	th2384
福田 信二	th1185	th1385	th2185	th2385
山下 恵	th1186	th1386	th2186	th2386

### 地球社会学コース地球社会学プログラム

担当教員	農学 展開研究Ⅰ	農学 展開研究Ⅱ	農学 展開研究Ⅲ	農学 展開研究Ⅳ
朝岡 幸彦	th1187	th1387	th2187	th2387
新井 祥穂	th1188	th1388	th2188	th2388
榎本 弘行	th1189	th1389	th2189	th2389
大倉 茂	th1251	th1451	th2251	th2451
草 処 基	th1190	th1390	th2190	th2390
甲田 菜穂子	th1191	th1391	th2191	th2391
澤 佳成	th1192	th1392	th2192	th2392
高橋 美貴	th1193	th1393	th2193	th2393
竹本 太郎	th1195	th1395	th2195	th2395
千年 篤	th1196	th1396	th2196	th2396
野見山 敏雄	th1197	th1397	th2197	th2397
山崎 亮一	th1198	th1398	th2198	th2398
吉田 央	th1199	th1399	th2199	th2399
渡邊 司	th1200	th1400	th2200	th2400

### 国際イノベーション農学コース国際イノベーション農学プログラム

担当教員	農学 展開研究Ⅰ	農学 展開研究Ⅱ	農学 展開研究Ⅲ	農学 展開研究Ⅳ	担当教員	農学 展開研究Ⅰ	農学 展開研究Ⅱ	農学 展開研究Ⅲ	農学 展開研究Ⅳ
皆上 大吾	th1246	th1446	th2246	th2446	柴田 秀史	th1216	th1416	th2216	th2416
石原 加奈子	th1201	th1401	th2201	th2401	渋谷 淳	th1217	th1417	th2217	th2417
井手 香織	th1202	th1402	th2202	th2402	清水 美希	th1218	th1418	th2218	th2418
臼井 達哉	th1238	th1438	th2238	th2438	鈴木 和彦	th1219	th1419	th2219	th2419
打出 毅	th1203	th1403	th2203	th2403	竹原 一明	th1221	th1421	th2221	th2421
遠藤 なつ美	th1239	th1439	th2239	th2439	田中 知己	th1222	th1422	th2222	th2422
及川 洋征	th1249	th1449	th2248	th2448	田中 綾	th1223	th1423	th2223	th2423
大松 勉	th1204	th1404	th2204	th2404	谷口 隆秀	th1224	th1424	th2224	th2424
大森 啓太郎	th1205	th1405	th2205	th2405	永岡 謙太郎	th1225	th1425	th2225	th2425
岡崎 伸	th1206	th1406	th2206	th2406	西藤 公司	th1226	th1426	th2226	th2426
桂 圭佑	th1207	th1407	th2207	th2407	林谷 秀樹	th1227	th1427	th2227	th2427
加藤 亮	th1208	th1408	th2208	th2408	福島 隆治	th1228	th1428	th2228	th2428
金田 正弘	th1240	th1440	th2240	th2440	古谷 哲也	th1230	th1430	th2230	th2430
川端 良子	th1209	th1409	th2209	th2409	町田 登	th1231	th1431	th2231	th2431
岸本 海織	th1210	th1410	th2210	th2410	水谷 哲也	th1232	th1432	th2232	th2432
五味 高志	th1212	th1412	th2212	th2412	村上 智亮	th1242	th1442	th2242	th2442
小山 哲史	th1213	th1413	th2213	th2413	山田 祐彰	th1233	th1433	th2233	th2433
佐々木 一昭	th1214	th1414	th2214	th2414	吉田 敏則	th1234	th1434	th2234	th2434
佐々 悠木子	th1241	th1441	th2241	th2441	渡辺 元	th1235	th1435	th2235	th2435
佐藤 俊幸	th1215	th1415	th2215	th2415	渡邊 裕純	th1236	th1436	th2236	th2436

# XI. 教職課程の履修

農学府農学専攻においては、中学校教諭専修免許状（理科）、高等学校教諭専修免許状（理科）、高等学校教諭専修免許状（農業）が取得できます。

専修免許状を取得するには、取得しようとする免許と同一教科の「中学校教諭1種免許状」、「高等学校教諭1種免許状」を取得している又は取得資格を満たしており、かつ、以下に示す各科目に対応する授業科目の中から24単位以上を修得することが必要です。

農学専攻において中学校教諭、高等学校教諭の専修免許状を取得する場合

免許科目	科目	対応する授業科目	単位数	免許科目	科目	対応する授業科目	単位数
理科	理科に関する科目	生物生産科学概論Ⅰ	1	農業	農業に関する科目	生物生産科学概論Ⅱ	1
		応用生命化学概論Ⅰ	1			自然環境資源学概論Ⅱ	1
		応用生命化学概論Ⅱ	1			食農情報工学概論Ⅱ	1
		自然環境資源学概論Ⅰ	1			地球社会学概論Ⅱ	1
		食農情報工学概論Ⅰ	1			国際イノベーション農学概論Ⅱ	1
		地球社会学概論Ⅰ	1			生産環境科学Ⅱ	2
		国際イノベーション農学概論Ⅰ	1			植物生産科学Ⅱ	2
		生産環境科学Ⅰ	2			動物生産科学Ⅱ	2
		植物生産科学Ⅰ	2			生物制御科学Ⅱ	2
		動物生産科学Ⅰ	2			生物制御科学Ⅳ	2
		生物制御科学Ⅰ	2			環境資源材料学Ⅱ	2
		生物制御科学Ⅲ	2			資源機能制御学Ⅱ	2
		生体分子化学Ⅰ	2			環境生物学Ⅱ	2
		生体分子化学Ⅱ	2			環境化学Ⅱ	2
		生理生化学Ⅰ	2			生態系保全学Ⅱ	2
		生理生化学Ⅱ	2			森林環境保全学Ⅱ	2
		環境資源材料学Ⅰ	2			地域環境工学Ⅱ	2
		資源機能制御学Ⅰ	2			生物生産工学Ⅱ	2
		環境生物学Ⅰ	2			共生人間学Ⅰ	2
		環境化学Ⅰ	2			共生人間学Ⅱ	2
		生態系保全学Ⅰ	2			環境社会関係学Ⅰ	2
		森林環境保全学Ⅰ	2			環境社会関係学Ⅱ	2
		地域環境工学Ⅰ	2			食料環境経済学Ⅱ	2
		生物生産工学Ⅰ	2			食料環境経済学Ⅲ	2
国際環境修復保全学Ⅰ	2	国際環境修復保全学Ⅱ	2				
国際生物生産資源学Ⅰ	2	国際生物生産資源学Ⅱ	2				
国際地域開発学Ⅰ	2	国際地域開発学Ⅱ	2				

# 農学府 4 年制博士課程

共同獣医学専攻

Cooperative Division of Veterinary Sciences

## XII. 修了要件および履修方法について

履修する科目については、「農学府履修案内」、「学生便覧」に記載する「農学府教育規則」等を参照し、履修計画を立て、所定期間内に履修登録をしなければなりません。

### 1 修了要件

標準修業年限（4年）以上在学し、専攻の教育課程に従い、下記表に示す単位数を修得するとともに、学位論文の審査及び最終試験に合格することとしています。（学則第74条を参照）

#### (1) 修了に必要な最低修得単位数

修了に必要な最低修得単位数は、以下のとおりです。

修了要件については、XV. 専攻および教育研究分野の内容（40ページ～）を参照してください。

専攻	修了に必要な最低修得単位数		
	必修科目	選択必修科目	修了単位数
共同獣医学専攻	30 単位	4 単位	34 単位

#### (2) 強化科目（整合教育）と他の研究科等科目の修了要件として算入できる上限単位数

修了要件として算入できる上限単位数は、以下のとおりです。

専攻名	強化科目 (学部科目)	農学府の 他専攻科目	他学府科目 (工学府・生物システム 応用科学府)	他大学院科目 (単位互換協定大学)
共同獣医学専攻	×	×	×	4

#### (3) 早期修了

諸条件を満たした場合、3年以上の在学期間で修了できる「早期修了制度」があります。詳細は、指導教員に確認してください。

## XIII. 学位授与の申請

学位授与の申請方法等は、「東京農工大学農学府共同獣医学専攻学位論文審査取扱要項」によりますが、学位審査関係日程等の詳細については掲示等によりその都度周知しますので、注意してください。また、学位論文審査基準等は、本学ホームページ（農学府のカリキュラム）に掲載されていますので、参照してください。

## XIV. 長期履修制度について

本学では東京農工大学学則第81条の3第1項の規定に基づき、長期履修制度を実施しています。詳細は学生便覧記載の「東京農工大学長期履修規程」を参照してください。

## XII. Doctoral Requirements and Subjects/Credits

Students must make an academic plan thoughtfully to complete the doctoral program. Registration of subjects should be done during a specified period.

### 1 Doctoral Requirements

Cooperative division of veterinary science awards the Degree of Doctor of Philosophy to students who enroll for the required number of years, acquire the specified number of credits, receive research guidance, and pass a doctoral thesis screening and examination.

#### (1) Required credits

The number of required credits is as follows. See page 40 for detail.

Division	The minimum number of required credits		
	Compulsory	Elective	Total
Veterinary Sciences	30	4	34

#### (2) Credit transfer system

Credits granted by credit-transfer agreement universities with TAT can be included to required credits up to 4 credits.

#### (3) Early completion

If you satisfy certain conditions, you can utilize "Early Completion Scheme" which allows you to complete the doctoral course in 3 years of enrollment. For details, please ask your advisor.

## XIII. Application for doctoral thesis screening/examination

Students must submit the application for doctoral thesis screening/examination in accordance with the university regulation. Regarding the schedule for submission of application and the distribution time of the application form etc., please note that it will be announced every time by notice.

## XIV. Long-term course study system

Division of Veterinary Sciences has long-term course study system. If you want to use this system, ask administrative office for details.



# XV. 専攻および教育研究分野の内容

## 1 共同獣医学専攻

東京農工大学・岩手大学共同獣医学専攻 別表第2（第3条の2 関係）

教育研究分野	科目区分	科目名	単位数	時間割番号	担当教員	毎週授業時間数								修了要件	講義			
						1年次		2年次		3年次		4年次						
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
共通基盤科目	◎	獣医学基盤講義 A	2	VD51001	専攻教員	2								この科目群から12単位				
	◎	獣医学基盤講義 B	2	VD51002	専攻教員			2										
	◎	研究デザイン演習	2	VD51003	専攻教員	2												
	◎	研究プレゼンテーション演習	2	VD51004	専攻教員			2										
	◎	研究倫理（東京農工大学）	1	VD51005	専攻教員	1		1										
	◎	研究倫理（岩手大学）	1	VD51006	専攻教員	1		1										
	◎	科学英語	2	VD51007	アジマン・山崎	2		2										
動物基礎医学講座	講座科目	◎	動物基礎医学特論 A（東京農工大学）	2	VD54001～	44頁を参照	主指導教員	2						この科目群から、講座科目として6単位、研究指導科目として12単位を併せて18単位	集中講義			
		◎	動物基礎医学特論 B（東京農工大学）	2	VD54101～		第1副指導教員	2										
		◎	動物基礎医学特論 C（岩手大学）	2	VD54201～		第2副指導教員			2								
	研究指導科目	◎	動物基礎医学特論 A（岩手大学）	2														
		◎	動物基礎医学特論 B（岩手大学）	2														
		◎	動物基礎医学特論 C（東京農工大学）	2														
		◎	動物基礎医学特別演習 A（東京農工大学）	8	VD54301～	44頁を参照	主指導教員	8										
		◎	動物基礎医学特別演習 B（東京農工大学）	2	VD54401～		第1副指導教員	2										
		◎	動物基礎医学特別演習 C（岩手大学）	2	VD54501～		第2副指導教員			2								
	獣医衛生科学講座	講座科目	◎	獣医衛生科学特論 A（東京農工大学）	2	VD55001～	45頁を参照	主指導教員	2								この科目群から、講座科目として6単位、研究指導科目として12単位を併せて18単位	集中講義
			◎	獣医衛生科学特論 B（東京農工大学）	2	VD55101～		第1副指導教員	2									
			◎	獣医衛生科学特論 C（岩手大学）	2	VD55201～		第2副指導教員			2							
研究指導科目		◎	獣医衛生科学特論 A（岩手大学）	2														
		◎	獣医衛生科学特論 B（岩手大学）	2														
		◎	獣医衛生科学特論 C（東京農工大学）	2														
		◎	獣医衛生科学特別演習 A（東京農工大学）	8	VD55301～	45頁を参照	主指導教員	8										
		◎	獣医衛生科学特別演習 B（東京農工大学）	2	VD55401～		第1副指導教員	2										
		◎	獣医衛生科学特別演習 C（岩手大学）	2	VD55501～		第2副指導教員			2								
◎	獣医衛生科学特別演習 A（岩手大学）	8																
◎	獣医衛生科学特別演習 B（岩手大学）	2																
◎	獣医衛生科学特別演習 C（東京農工大学）	2																

獣医臨床医科学講座	講座科目	◎ 獣医臨床医科学特論 A (東京農工大学)	2	VD56001~	46 頁を参照	主指導教員	2													
		◎ 獣医臨床医科学特論 B (東京農工大学)	2	VD56101~		第 1 副指導教員	2													
		◎ 獣医臨床医科学特論 C (岩手大学)	2	VD56201~		第 2 副指導教員		2												
		◎ 獣医臨床医科学特論 A (岩手大学)	2																	
		◎ 獣医臨床医科学特論 B (岩手大学)	2																	
		◎ 獣医臨床医科学特論 C (東京農工大学)	2																	
	研究指導科目	◎ 獣医臨床医科学特別演習 A (東京農工大学)	8	VD56301~	46 頁を参照	主指導教員	8													
		◎ 獣医臨床医科学特別演習 B (東京農工大学)	2	VD56401~		第 1 副指導教員	2													
		◎ 獣医臨床医科学特別演習 C (岩手大学)	2	VD56501~		第 2 副指導教員		2												
		◎ 獣医臨床医科学特別演習 A (岩手大学)	8																	
◎ 獣医臨床医科学特別演習 B (岩手大学)		2																		
◎ 獣医臨床医科学特別演習 C (東京農工大学)		2					2													
獣医学学際科目	○ 学際領域特別講義	2	VD52001		専攻教員	2														
	○ 国際感染症疫学	1	VD52002		水谷, 大松, 古谷		1													
	○ 先進動物医療学	1	VD52003		町田 他 専攻教員				1											
	○ 食品衛生管理学	1	VD52004		佐藤(至)他 専攻教員		1													
	○ 動物と人の共存学	1	VD52005		山崎(真), 岡田, 福井				1											
先端実践科目	○ 動物基礎医学学外演習 (理化学研究所)	1	VD53001		的場 (理化学研究所)	←														
	○ 獣医衛生科学学外演習 (国立感染症研究所)	1	VD53002		永田・李 (国立 感染症研究所)	←														
	○ 獣医衛生科学学外演習 (医薬品食品衛生研究所)	1	VD53003		岡田 (医薬品食品 衛生研究所)	←														
	○ 獣医衛生科学学外演習 (農研機構)	1	VD53004		山本 (農研機構)	←														
	○ 獣医臨床医科学学外演習 (日本中央競馬会)	1	VD53005		笠嶋 (日本中央競馬会)	←														
	○ 獣医学特別演習 (東京農工大学)	1	VD53101~	44 頁を参照	主指導教員	←														
	○ 海外演習 A (東京農工大学)	1	VD53201~		主指導教員	←														
	○ 海外演習 B (東京農工大学)	2	VD53301~		主指導教員	←														
	○ 獣医学特別演習 (岩手大学)	1				←														
	○ 海外演習 A (岩手大学)	1				←														
	○ 海外演習 B (岩手大学)	2				←														
この科目群から 2 単位以上	集中講義																			
	この科目群から 2 単位以上																			
	この科目群から 2 単位以上																			
	この科目群から 2 単位以上																			
	この科目群から 2 単位以上																			

必修科目	選択必修科目	修了単位
30 単位	4 単位以上	34 単位以上

★履修登録上の注意★

動物基礎医科学特別演習 A, 獣医衛生科学特別演習 A, 獣医臨床医科学特別演習 A については 4 年次後期に履修登録をすること。

備考 (1) ◎必須, ○選択

(2) 講座科目及び研究指導科目の◎印は必修科目として、併せて 18 単位を修得すること。

# XV. Curriculum

## 1 Cooperative Division of Veterinary Sciences

### Subjects and credits

Research Field	Category	Subjects	Credits	Code number	Teachers	Time of class								Required credits	Style of lectures	
						1st grade		2nd grade		3rd grade		4th grade				
						former	latter	former	latter	former	latter	former	latter			
Common Basic Lectures		◎ Basic Lecture for Veterinary Science A	2	VD51001	Faculty members	2								12 credits		
		◎ Basic Lecture for Veterinary Science B	2	VD51002	Faculty members			2								
		◎ Research Design Exercise	2	VD51003	Faculty members	2										
		◎ Research Presentation Exercise	2	VD51004	Faculty members			2								
		◎ Research Ethics (TUAT)	1	VD51005	Faculty members	1		1								
		◎ Research Ethics (Iwate)	1	VD51006	Faculty members	1		1								
		◎ Scientific English	2	VD51007	Agyeman·Yamazaki	2		2								
Basic Animal Medicine	Course Lectures	◎ Special Lecture for Basic Animal Medicine A (TUAT)	2	VD54001~	See page 44	Main Advisor	2							6 credits from course lectures, 12 credits from research guidance lectures 18 credits in total	Intensive lecture	
		◎ Special Lecture for Basic Animal Medicine B (TUAT)	2	VD54101~		Primary assistant-advisor	2									
		◎ Special Lecture for Basic Animal Medicine C (Iwate)	2	VD54201~		Secondary assistant-advisor			2							
		◎ Special Lecture for Basic Animal Medicine A (Iwate)	2													
		◎ Special Lecture for Basic Animal Medicine B (Iwate)	2													
		◎ Special Lecture for Basic Animal Medicine C (TUAT)	2													
	Research Guidance Lectures	◎ Special Advanced Seminar for Basic Animal Medicine A (TUAT)	8	VD54301~	See page 44	Main Advisor	8									
		◎ Special Advanced Seminar for Basic Animal Medicine B (TUAT)	2	VD54401~		Primary assistant-advisor	2									
		◎ Special Advanced Seminar for Basic Animal Medicine C (Iwate)	2	VD54501~		Secondary assistant-advisor			2							
		◎ Special Advanced Seminar for Basic Animal Medicine A (Iwate)	8													
		◎ Special Advanced Seminar for Basic Animal Medicine B (Iwate)	2													
		◎ Special Advanced Seminar for Basic Animal Medicine C (TUAT)	2													
Veterinary Hygiene Science	Course Lectures	◎ Special Lecture for Veterinary Hygiene Science A (TUAT)	2	VD55001~	See page 45	Main Advisor	2							6 credits from course lectures, 12 credits from research guidance lectures 18 credits in total	Intensive lecture	
		◎ Special Lecture for Veterinary Hygiene Science B (TUAT)	2	VD55101~		Primary assistant-advisor	2									
		◎ Special Lecture for Veterinary Hygiene Science C (Iwate)	2	VD55201~		Secondary assistant-advisor			2							
		◎ Special Lecture for Veterinary Hygiene Science A (Iwate)	2													
		◎ Special Lecture for Veterinary Hygiene Science B (Iwate)	2													
		◎ Special Lecture for Veterinary Hygiene Science C (TUAT)	2													
	Research Guidance Lectures	◎ Special Advanced Seminar for Veterinary Hygiene Science A (TUAT)	8	VD55301~	See page 45	Main Advisor	8									
		◎ Special Advanced Seminar for Veterinary Hygiene Science B (TUAT)	2	VD55401~		Primary assistant-advisor	2									
		◎ Special Advanced Seminar for Veterinary Hygiene Science C (Iwate)	2	VD55501~		Secondary assistant-advisor			2							
		◎ Special Advanced Seminar for Veterinary Hygiene Science A (Iwate)	8													
		◎ Special Advanced Seminar for Veterinary Hygiene Science B (Iwate)	2													
		◎ Special Advanced Seminar for Veterinary Hygiene Science C (TUAT)	2													

Veterinary Clinical Science	Course Lectures	◎	Special Lecture for Veterinary Clinical Science A (TUAT)	2	VD56001~	See page 46	Main Advisor	2										
		◎	Special Lecture for Veterinary Clinical Science B (TUAT)	2	VD56101~		Primary assistant-advisor	2										
		◎	Special Lecture for Veterinary Clinical Science C (Iwate)	2	VD56201~		Secondary assistant-advisor		2									
		◎	Special Lecture for Veterinary Clinical Science A (Iwate)	2														
		◎	Special Lecture for Veterinary Clinical Science B (Iwate)	2														
		◎	Special Lecture for Veterinary Clinical Science C (TUAT)	2														
	Research Guidance Lectures	◎	Special Advanced Seminar for Veterinary Clinical Science A (TUAT)	8	VD56301~	See page 46	Main Advisor	8										
		◎	Special Advanced Seminar for Veterinary Clinical Science B (TUAT)	2	VD56401~		Primary assistant-advisor	2										
		◎	Special Advanced Seminar for Veterinary Clinical Science C (Iwate)	2	VD56501~		Secondary assistant-advisor		2									
		◎	Special Advanced Seminar for Veterinary Clinical Science A (Iwate)	8														
		◎	Special Advanced Seminar for Veterinary Clinical Science B (Iwate)	2														
		◎	Special Advanced Seminar for Veterinary Clinical Science C (TUAT)	2														
Lectures of Veterinary-related Research Fields	○	Special Lecture in related Research Fields	2	VD52001		Faculty members	2											
	○	International Infectious Disease Epidemiology	1	VD52002		MIZUTANI,OMATSU ,FURUYA		1										
	○	Advanced Clinical Veterinary Medicine	1	VD52003		MACHIDA and Faculty members				1								
	○	Food Hygiene Management	1	VD52004		SATOH I. and Faculty members		1										
	○	Coexistence of Animal and Human	1	VD52005		YAMASAKI M.,OKADA,FUKUI				1								
Advanced Practice	○	External Practice for Basic Animal Medicine (RIKEN)	1	VD53001														
	○	External Practice for Veterinary Hygiene Science (National Institute of Infectious diseases)	1	VD53002														
	○	External Practice for Veterinary Hygiene Science (National Institute of Health Sciences)	1	VD53003														
	○	External Practice for Veterinary Hygiene Science (National Agriculture and Food Research Organization)	1	VD53004														
	○	External Practice for Veterinary Clinical Science (Japan Racing Association)	1	VD53005														
	○	Special Advanced Practice in Veterinary Science (TUAT)	1	VD53101~	See page 44-	Main Advisor												
	○	Overseas Practice A (TUAT)	1	VD53201~		Main Advisor												
	○	Overseas Practice B (TUAT)	2	VD53301~		Main Advisor												
	○	Special Advanced Practice in Veterinary Science (Iwate)	1															
	○	Overseas Practice A (Iwate)	1															
○	Overseas Practice B (Iwate)	2																

Completion Requirements		
Compulsory	Elective	TOTAL
30 credits	4 credits or more	34 credits or more

★Attention on registration★

Special Advanced Seminar for Basic Animal Medicine A or Special Advanced Seminar for Veterinary Hygiene Science A or Special Advanced Seminar for Veterinary Clinical Science A must be registered at the latter semester of 4th grade.

Remarks

(1) ◎Compulsory, ○Elective

(2) Take course lectures and research guidance lectures (◎ 18 credits) from belonging track

## (1) 教育方針

東京農工大学・岩手大学共同獣医学科の教育理念において重点的に取り組んでいる伴侶動物及び産業動物の高度医療分野並びに動物衛生・公衆衛生分野について、大学院博士課程レベルでの更なる高度化を目指し、我が国のみならず世界的に獣医学を牽引する研究リーダーを育成するための教育課程とする。

この教育課程は、学部における共同獣医学科の講座に接続して、「動物基礎医学講座」、「獣医衛生科学講座」、「獣医臨床医科学講座」の3講座に編成する。

教育課程には、両大学の強みを組み込んだ5つの科目群（共通基盤科目、講座科目、研究指導科目、獣医学学際科目、先端実践科目）を設け、体系的な科目履修が可能となる構成としている。また、本学学生は本学国際家畜感染症防疫研究教育センター及び動物医療センター、並びに岩手大学農学部附属施設として設置されている動物医学食品安全教育研究センター及び動物病院が提供する最先端の実験機器を活用でき、これら4つのセンターが学生の研究活動を支援する。さらに、これらセンターを基軸とした両大学の強みを特徴付ける講義を獣医学学際科目に開講し、獣医療分野並びに動物衛生・公衆衛生分野の高度専門知識を有する人材育成をサポートする。

両大学の教員が同じ領域に開講する各分野に関連した講義、演習科目を通じて、更に専門性の高い授業を行う。先端実践科目は両大学の立地環境を活かして国や地方の研究機関並びに海外の大学等の連携協力により実施し、自らの研究の社会的意義付けを意識させる内容とする。

授業形態は、講義（対面講義、遠隔講義、集中合同講義、オムニバス方式）及び、演習（ゼミ方式、集中合同演習）とする。これらは、研究遂行の過程で培う素養とこれらの科目を有機的に結び付けるものとし、更に高いレベルでの研究及び博士論文作成が行えるよう、両大学の教員が連携し、学生の自立的な研究活動を多面的にサポートする。

## (2) 教育研究分野の内容

### 1) 動物基礎医学講座科目

動物基礎医学講座科目では、学部での基礎獣医学講座と病態獣医学講座を有機的に結び付け、基本的な機能形態から病態までをカバーし、動物の解剖・生理および動物の病態について高度基礎獣医学に関する教育と研究を行う。

### 2) 獣医衛生科学講座科目

獣医衛生科学講座科目では、国際家畜感染症防疫研究教育センター（農工）、動物医学食品安全教育研究センター（岩手）及び連携機関の協力を得て、家畜感染症と家畜衛生および獣医公衆衛生について高度応用獣医学に関する教育と研究を行う。

### 3) 獣医臨床医科学講座科目

獣医臨床医科学講座科目では、動物医療センター（農工）及び動物病院（岩手）のサポートも得て、首都圏及び東北地域の臨床現場を強く意識した産業動物および伴侶動物獣医療について高度動物臨床医科学に関する教育と研究を行う。

## (3) 授業科目概要

各科目の授業内容については SPICA またはシラバス検索を参照のこと。

シラバス検索

<http://spica.gakumu.tuat.ac.jp/syllabus/SearchMain.aspx?>



## (1) Curriculum Policy

The Cooperative Division of Veterinary Sciences aims to deepen the philosophy advocated by the Cooperative Department of Veterinary Medicine, Faculty of Agriculture, TAT & Iwate university, and to foster research leaders who have innovative ways of thinking based on advanced veterinary science for companion/food animals and animal hygiene/public health.

This program consists of three courses of "Basic Animal Medicine", "Veterinary Hygiene Science", "Veterinary Clinical Science".

In the curriculum, there are five subject groups (Common basic lectures, Course lectures, Research guidance lectures, Lectures of veterinary-related research fields, Advanced practice). Students can receive the academic supports and advance lectures provided by Research and Education Center for Prevention of Global Infectious Diseases and Animal Medical Center of TAT, and Food Animal Medicine & Food Safety Research Center (FAMS) and Animal Hospital of Iwate university.

Students learn expertise from the faculty members of both TAT and Iwate universities through lectures and exercise related to each field. The advanced practical subjects are carried out by the collaboration with national and regional research institutions and overseas universities etc. to make students aware of social significance of their own research.

Class styles are lecture (face to face lecture, distance lecture, intensive lecture, omnibus lecture) and exercise (seminar type, intensive joint exercise). These link subjects of study of the faculty members of both universities to support research activity from the multiple points of view for the preparation of a doctoral thesis.

## (2) Major Track and Research Field

### 1) Basic Animal Medicine

Students in this field are trained to become outstanding researchers who will contribute to the advancement of Veterinary Anatomy, Physiology, Pharmacology and Pathology.

### 2) Veterinary Hygiene Science

Students in this field are trained to become outstanding researchers who will contribute to the advancement of Animal Hygiene and Veterinary Public Health in collaboration with Research and Education Center for Prevention of Global Infectious Diseases (TAT) and Food Animal Medicine & Food Safety Research Center (FAMS, Iwate University).

### 3) Veterinary Clinical Science

Students in this field are trained to become outstanding researchers who will contribute to the advancement of Farm Animal Medicine and Companion Animal Medicine in collaboration with Animal Medical Center (TAT) and Animal Hospital (Iwate University).

## (3) Syllabus

Visit the following website for syllabus of subjects.

<http://spica.gakumu.tuat.ac.jp/syllabus/SearchMain.aspx?>



# 講座別論文指導科目コード表

## ■ 動物基礎医学講座 Basic Animal Medicine

所属講座 Major Track	授業科目名 Subjects	動物基礎医学特論 A(東京農工大学) Special Lecture for Basic Animal Medicine A (TUAT)	動物基礎医学特論 B(東京農工大学) Special Lecture for Basic Animal Medicine C (Iwate)	動物基礎医学特論 C(岩手大学) Special Lecture for Basic Animal Medicine C (Iwate)	動物基礎医学特別 演習 A(東京農工大学) Special Advanced Seminar for Basic Animal Medicine A (TUAT)	動物基礎医学特別 演習 B(東京農工大学) Special Advanced Seminar for Basic Animal Medicine B (TUAT)	動物基礎医学特別 演習 C(岩手大学) Special Advanced Seminar for Basic Animal Medicine C (Iwate)	獣医学特別演習 (東京農工大学) Special Advanced Practice in Veterinary Science (TUAT)	海外演習 A (東京農工大学) Overseas Practice A (TUAT)	海外演習 B (東京農工大学) Overseas Practice B (TUAT)
動物基礎医学講座 Basic Animal Medicine	担当教員 Teachers									
	柴田 秀史 SHIBATA Hideshi	VD54001	VD54101		VD54301	VD54401		VD53101	VD53201	VD53301
	渋谷 淳 SHIBUTANI Makoto	VD54002	VD54102		VD54302	VD54402		VD53102	VD53202	VD53302
	永岡 謙太郎 NAGAOKA Kentaro	VD54008	VD54108		VD54308	VD54408		VD53108	VD53208	VD53308
	渡辺 元 WATANABE Gen	VD54003	VD54103		VD54303	VD54403		VD53103	VD53203	VD53303
	金田 正弘 KANEDA Masahiro	VD54011	VD54133		VD54311	VD54433		VD53133	VD53233	VD53333
	小山 哲史 KOYAMA Satoshi	VD54004	VD54104		VD54304	VD54404		VD53104	VD53204	VD53304
	佐々木 一昭 SASAKI Kazuaki	VD54005	VD54105		VD54305	VD54405		VD53105	VD53205	VD53305
	佐藤 俊幸 SATOHI Toshiyuki	VD54006	VD54106		VD54306	VD54406		VD53106	VD53206	VD53306
	鈴木 和彦 SUZUKI Kazuhiko	VD54007	VD54107		VD54307	VD54407		VD53107	VD53207	VD53307
	村上 智亮 MURAKAMI Tomoki	VD54012	VD54134		VD54312	VD54434		VD53134	VD53234	VD53334
	吉田 敏則 YOSHIDA Toshinori	VD54009	VD54109		VD54309	VD54409		VD53109	VD53209	VD53309
	臼井 達哉 USUI Tatsuya	VD54010	VD54110		VD54310	VD54410		VD53110	VD53210	VD53310
	落合 謙爾 OCHIAI Kenji			VD54201			VD54501			
	木崎 景一郎 KIZAKI Keiichiro			VD54202			VD54502			
	佐藤 洋 SATOHI Hiroshi			VD54203			VD54503			
	古市 達哉 FURUICHI Tatsuya			VD54204			VD54504			
	山本 欣郎 YAMAMOTO Yoshio			VD54205			VD54505			
	中牟田 信明 NAKAMUTA Nobuaki			VD54206			VD54506			
	山田 美鈴 YAMADA Misuzu			VD54207			VD54507			

## ■ 獣医衛生学講座 Veterinary Hygiene Science

所属講座 Major Track	授業科目名 Subjects	獣医衛生科学特論 A(東京農工大学) Special Lecture for Veterinary Hygiene Science A (TUAT)	獣医衛生科学特論 B(東京農工大学) Special Lecture for Veterinary Hygiene Science B (TUAT)	獣医衛生科学特論 C(岩手大学) Special Lecture for Veterinary Hygiene Science C (Iwate)	獣医衛生科学特別 演習 A(東京農工大学) Special Advanced Seminar for Veterinary Hygiene Science A (TUAT)	獣医衛生科学特別 演習 B(東京農工大学) Special Advanced Seminar for Veterinary Hygiene Science B (TUAT)	獣医衛生科学特別 演習 C(岩手大学) Special Advanced Seminar for Veterinary Hygiene Science C (Iwate)	獣医学特別演習 (東京農工大学) Special Advanced Practice in Veterinary Science (TUAT)	海外演習 A (東京農工大学) Overseas Practice A (TUAT)	海外演習 B (東京農工大学) Overseas Practice B (TUAT)
獣医衛生学講座 Veterinary Hygiene Science	担当教員 Teachers									
	竹原 一明 TAKEHARA Kazuaki	VD55002	VD55112		VD55302	VD55412		VD53112	VD53212	VD53312
	永田 典代 NAGATA Noriyo	VD55003	VD55113		VD55303	VD55413		VD53113	VD53213	VD53313
	水谷 哲也 MIZUTANI Tetsuya	VD55005	VD55115		VD55305	VD55415		VD53115	VD53215	VD53315
	李 天成 Li Tiancheng	VD55006	VD55116		VD55306	VD55416		VD53116	VD53216	VD53316
	谷口 隆秀 TANIGUCHI Takahide	VD55007	VD55117		VD55307	VD55417		VD53117	VD53217	VD53317
	林谷 秀樹 HAYASHIDANI Hideo	VD55008	VD55118		VD55308	VD55418		VD53118	VD53218	VD53318
	古谷 哲也 FURUYA Tetsuya	VD55009	VD55119		VD55309	VD55419		VD53119	VD53219	VD53319
	大松 勉 OMATSU Tsutomu	VD55010	VD55120		VD55310	VD55420		VD53120	VD53220	VD53320
	石原 加奈子 ISHIHARA Kanako	VD55011	VD55121		VD55311	VD55421		VD53121	VD53221	VD53321
	佐々木 悠木子 SASSA Yukiko	VD55012	VD55122		VD55312	VD55422		VD53122	VD53222	VD53322
	板垣 匡 ITAGAKI Tadashi			VD55208			VD55508			
	佐藤 至 SATOHI Itaru			VD55209			VD55509			
	村上 賢二 MURAKAMI Kenji			VD55210			VD55510			
	山本 健久 YAMAMOTO Takehisa			VD55211			VD55511			

## ■ 獣医臨床医科学講座 Veterinary Clinical Science

所属講座 Major Track	授業科目名 Subjects	獣医臨床医科学 特論 A (東京農工大学) Special Lecture for Veterinary Clinical Science A (TUAT)	獣医臨床医科学 特論 B (東京農工大学) Special Lecture for Veterinary Clinical Science B (TUAT)	獣医臨床医科学 特論 C (岩手大学) Special Lecture for Veterinary Clinical Science C (Iwate)	獣医臨床医科学 特別演習 A (東京農工大学) Special Advanced Seminar for Veterinary Clinical Science A (TUAT)	獣医臨床医科学 特別演習 B (東京農工大学) Special Advanced Seminar for Veterinary Clinical Science B (TUAT)	獣医臨床医科学 特別演習 C (岩手大学) Special Advanced Seminar for Veterinary Clinical Science C (Iwate)	獣医学特別演習 (東京農工大学) Special Advanced Practice in Veterinary Science (TUAT)	海外演習 A (東京農工大学) Overseas Practice A (TUAT)	海外演習 B (東京農工大学) Overseas Practice B (TUAT)
獣医臨床医科学講座 Veterinary Clinical Science	担当教員 Teachers									
	打出 毅 UCHIDE Tsuyoshi	VD56001	VD56123		VD56301	VD56423		VD53123	VD53223	VD53323
	町田 登 MACHIDA Noboru	VD56002	VD56124		VD56302	VD56424		VD53124	VD53224	VD53324
	田中 知己 TANAKA Tomomi	VD56003	VD56125		VD56303	VD56425		VD53125	VD53225	VD53325
	福島 隆治 FUKUSHIMA Ryuji	VD56004	VD56126		VD56304	VD56426		VD53126	VD53226	VD53326
	清水 美希 SHIMIZU Miki	VD56005	VD56127		VD56305	VD56427		VD53127	VD53227	VD53327
	田中 綾 TANAKA Ryou	VD56006	VD56128		VD56306	VD56428		VD53128	VD53228	VD53328
	西藤 公司 NISHIFUJI Koji	VD56007	VD56129		VD56307	VD56429		VD53129	VD53229	VD53329
	井手 香織 IDE Kaori	VD56008	VD56130		VD56308	VD56430		VD53130	VD53230	VD53330
	大森 啓太郎 OHMORI Keitaro	VD56009	VD56131		VD56309	VD56431		VD53131	VD53231	VD53331
	岸本 海織 KISHIMOTO Miori	VD56010	VD56132		VD56310	VD56432		VD53132	VD53232	VD53332
	宇塚 雄次 UZUKA Yuji			VD56213			VD56513			
	岡田 啓司 OKADA Keiji			VD56214			VD56514			
	佐藤 繁 SATO Shigeru			VD56215			VD56515			
	高橋 透 TAKAHASHI Toru			VD56216			VD56516			
	山崎 真大 YAMASAKI Masahiro			VD56217			VD56517			
	片山 泰章 KATAYAMA Masaaki			VD56218			VD56518			
	福井 大祐 FUKUI Daisuke			VD56219			VD56519			
	寺嶋 淳 TERASHIMA Jun			VD56220			VD56520			





## XVI. 農学府教員連絡先

教員の所在研究室・メールアドレス一覧については、本学ホームページ上の研究者プロフィール又は学部生向け履修案内を参照してください。

研究者プロフィール検索 <http://www.rd.tuat.ac.jp/researcher/index.html>

農学部履修案内

[http://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/campuslife\\_career/campuslife/course/2021risyu\\_nogakubu.pdf](http://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/campuslife_career/campuslife/course/2021risyu_nogakubu.pdf)

## XVII. 提供するプログラム

本学では、留学や教育に関する多様なプログラムを提供しています。  
各種プログラムについては、以下の本学ホームページで確認することができます。

グローバル教育院のWEB サイト

<http://web.tuat.ac.jp/~eag/outline/program.html>



グローバル教育院の海外留学ポータル

<http://web.tuat.ac.jp/~studyabroad/>



東京外国語大学・東京農工大学・電気通信大学による  
文理協働型グローバル人材育成プログラム

<http://web.tuat.ac.jp/~eag/global/program2.html>



国際交流室のWEB サイト

[http://web.tuat.ac.jp/~intl/ja/tuat\\_student/](http://web.tuat.ac.jp/~intl/ja/tuat_student/)



東京農工大学卓越大学院プログラム

<http://www.wise.tuat.ac.jp/>



## XVIII. 各種様式集

- 学外研究届（国内）（付表A－1）
- 学外研究・実習等に伴う依頼状等の送付先（付表A－2）
- 自動車運転許可申請書（付表A－3）
- 渡航届（付表B）
- 学外研究実施について（報告）（付表C）
- 科目履修登録届（インターン・学外実習用）

主な様式集は、WEB 掲示板からもダウンロード可能です。

【WEB 掲示板 URL】

<http://t-board.office.tuat.ac.jp/A/menu.php>



(付表A-1)

学府長・学部長	事務長	学生支援室長	係長	主任	係員		担当

## 学 外 研 究 届 (国 内)

農学府長・農学部長 殿

年 月 日

下記のとおり、学外（研究・教育）活動について安全管理の指導を講じた上、実施することをお届けします。

※依頼状の送付 不要 必要  
 (依頼状が必要な場合は、(付表A-2)を添付)

指導教員名

(自署)

【内線番号：

】

記

日程	令和 年 月 日 ( ) ~ 令和 年 月 日 ( )				
	(月・週) 回, 1日 時間(目安) ※1週間以上の場合、日程表を添付のこと。				
行先	名称				
	所在地	〒 TEL:			
同行教員	(無・有)氏名:	所属:			
研究先での指導者	(無・有)氏名:	所属:			
自動車利用状況	<input type="checkbox"/> 自動車利用あり (↓チェック) <input type="checkbox"/> 自動車は利用しない				
	運転者: <input type="checkbox"/> 同行教員または研究先での指導員 <input type="checkbox"/> 本学学生 (本届に自動車運転許可申請を添付済み <input type="checkbox"/> )				
自動車運転許可対象学生	対象学生が申請を行い自動車運転の許可要件を満たした場合は、農学府・農学部長が許可し自動車運転を認める。 (不許可となった場合、指導教員および学生(学籍メールアドレス)にメール連絡を行う) ① 指導教員(指導者)が同行しない場合、大学院生(獣医5年次以上含む)の運転を認める。 (学部生(獣医は4年次以下)・研究生は認めない) 但し、単独運転は行わず、学部生以上の者を同乗させること。 ② 指導教員(指導者)が同行するが自動車運転をしない場合、 大学院生・学部4年次生(獣医5年次以上)・研究生の運転を認める。(学部3年次(獣医4年次)以下は認めない)				
目的	内容	項目 (関連項目に✓を記入) <input type="checkbox"/> 卒論・修論 <input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> インターンシップ <input type="checkbox"/> 授業科目名: <input type="checkbox"/> その他:			
	単位修得の希望: 無・有 → SPICA登録: 済・未登録 <input type="checkbox"/> 単位修得を希望する者は、実施日の1ヶ月前までに、「学外研究届(付表A-1,A-2)」と「科目履修登録届」を提出 (SPICAで履修登録済みの場合は「科目履修登録届」の提出は不要)				
※多数の場合は、名簿を添付のこと					
※参加学生	学科・専攻	学年	学籍番号	氏名	災害傷害・賠償保険の加入
					<input type="checkbox"/> 学研災 <input type="checkbox"/> 学研賠または学賠
					<input type="checkbox"/> 学研災 <input type="checkbox"/> 学研賠または学賠
<input type="checkbox"/>	安全管理の実施 ※参加学生に対し指導教員が 講ずるべき事項	①災害傷害および賠償責任保険の加入確認・指導 ②連絡方法・救急具の携行等、事前の安全教育の実施 ③学生が自動車運転を行う場合、本届に自動車運転許可申請書を添付し、農学府・農学部長の許可を得る			

注1. 学生は、本届の提出前に必ず災害傷害保険及び賠償責任保険に加入していること。

災害傷害: 学研災(学生教育研究災害傷害保険) 賠償保険: 学研賠(学研災付賠償責任保険), 学賠(学生賠償責任保険・生協)

注2. 【保険加入の確認、問合せ及び保険加入手続きの窓口】 学生生活係

注3. 【本届の提出場所】 府中地区学生支援室 教務第一係

注4. 【本届の提出期日】 実施日の1週間前迄 但し、依頼状が必要な場合、単位修得を希望する場合→1ヶ月前迄

注5. 礼状の送付は、(付表C) 実施報告書の提出があった場合にのみ発行する。

注6. 学生が自動車運転を行う場合、本届と共に自動車運転許可申請書を提出のこと。

学外研究届（国内）（付表A-2）

（依頼状等の送付が必要な場合は学外研究届に必ず添付すること。）

学外研究・実習等に伴う依頼状等の送付先

種類	<input type="checkbox"/> 調査	<input type="checkbox"/> 見学	<input type="checkbox"/> 実習	<input type="checkbox"/> インターンシップ
1. 依頼状				
文書宛名（農学部府長名で依頼を行うため、主に所長・課長等の機関長・所属長名を記載する）				
機関名：				
役職：		氏名：		
封筒宛名（※手続き担当者等、文書宛名と異なる場合は記載する）				
所属部署名：				
役職名：		氏名：		
送付先住所				
<input type="checkbox"/> 研究先の所在地と同様				
〒				
TEL：				
2. その他送付書類				
<input type="checkbox"/> 無				
<input type="checkbox"/> 有 （ <input type="checkbox"/> 申請書 <input type="checkbox"/> 誓約書 <input type="checkbox"/> 保険加入証明書 <input type="checkbox"/> 覚書 <input type="checkbox"/> 他 )				

(付表A-3)

学部長・学部長	事務長	学生支援室長	係長	主任	係員		担当

### 自動車運転許可申請書

農学府長・農学部長 殿

年 月 日

下記のとおり、学生の自動車運転について、許可願います。

指導教員名	(自署)
【内線番号: _____】	1

記

日程	令和 年 月 日 ( ) ~ 令和 年 月 日 ( )	日間
行先		

	学科・専攻	学籍番号	氏名
運転者①			
	□実質運転歴2年以上 □責任50%以上の人身事故歴2年以上なし □体調良好		
運転者②			
	□実質運転歴2年以上 □責任50%以上の人身事故歴2年以上なし □体調良好		
運転者③			
	□実質運転歴2年以上 □責任50%以上の人身事故歴2年以上なし □体調良好		
運転者④			
	□実質運転歴2年以上 □責任50%以上の人身事故歴2年以上なし □体調良好		
同乗者①			
同乗者②			
同乗者③			
同乗者④			
自動車の種類 自家用車 (所有者 ) ・ レンタカー □使用する自動車は、運転者が被保険者となる十分な補償内容 (対人無制限・対物・同乗者傷害) を備えた任意保険に加入している。 (レンタカーの場合は、上記の条件を満たす自動車保険に加入する)			

自動車運転許可対象学生	以下の対象学生が申請手続きを行い、自動車運転許可の要件を満たす者に農学府・農学部長は自動車運転を認める。
	① 指導教員 (指導者) が同行しない場合、大学院生 (獣医5年次以上含む) の運転を認める。 (学部生 (獣医は4年次以下) ・ 研究生は認めない) なお、学部生以上の同乗者を同乗させること。
	② 指導教員 (指導者) が同行するが自動車運転をしない場合、大学院生・学部4年次生 (獣医5年次以上) ・ 研究生の運転を認める。 (学部3年次 (獣医4年次) 以下は認めない)
	※ ・ 実質運転歴2年以上 ・ 責任50%以上の人身事故歴2年以上なし ・ 体調良好の者

注1. 学生は、本書の提出前に必ず災害傷害保険及び賠償責任保険に加入していること。

災害傷害: 学研災 (学生教育研究災害傷害保険) 賠償保険: 学研賠 (学研災付賠償責任保険), 学賠 (学生賠償責任保険・生賠)

2. 【保険加入の確認、問合せ及び保険加入手続きの窓口】 学生生活係

3. 【本書の提出場所】 府中地区学生支援室 教務第一係

4. 【本書の申請期日】 実施日の1週間前迄 (学外研究部と共に提出) ※申請の提出が遅れた場合、運転の許可を認めない。

5. 申請の結果、不許可になった場合に限る。指導教員および申請学生 (学生メールアドレス) にメールで連絡を行う。







渡航届(付表B)裏面 Back Page

国内の緊急連絡先 Emergency Contact in Japan	氏名Name :	続柄Relation :
住所Address :		
TEL:		携帯 Mobile :
パスポート Passport	氏名(アルファベット表記) Name in alphabet	No.
海外旅行保険 Travel Insurance	加入保険会社名 : Insurance Company	

※原則、「付帯海学」に加入してください。  
※Please join the the "Futai Kaigaku" insurance.

<b>Attention International Students!! For Temporary Leave, please fill in below.</b> 外国人留学生の一時帰国の場合は下記を記入してください。	
奨学金の種類 Type of scholarship	<input type="checkbox"/> 国費 Japanese Government Scholarship Student <input type="checkbox"/> 政府派遣 Foreign Government Sponsored Student <input type="checkbox"/> 私費 Student at Private Expense ( <input type="checkbox"/> 学習奨励費 Honors Scholarship)
備考 Note	

スケジュール表 (別紙可) Itinerary (Please add appendix if necessary)

年月日 Date	発着地名・交通手段(便名)* Departure/Destination	訪問先 Visiting institution	滞在日数 Days	用務 Business

\*発着地名と飛行機(便名)、バス、電車等の移動交通手段を記入して下さい。

\*Please input port of departure, destination, and means of transportation including airline (flight No.), bus, and train.

<input type="checkbox"/> 国内で空港までの往復等に自主運転で自動車を利用する予定がある I plan to drive myself to and from domestic airports.	【運転歴 :           年】 Driving Experience (Year)
<input type="checkbox"/> 海外で交通手段として、自主運転で自動車を利用する予定がある I plan to drive myself to and from overseas airports.	

学府長・学部長	事務長	学生支援室長	係長	主任	係員		担当

(付表C)

年 月 日

農 学 部 長 殿  
農 学 府 長 殿

指導教員氏名 (自署) \_\_\_\_\_ 印  
内線 :

### 学外研究実施について (報告)

下記のとおり、大学の研究教育活動の一環として

調査     見学     実習     インターンシップ     その他

を実施いたしましたので、報告いたします。

#### 記

参加学生 (※欄が不足する場合は、名簿を用意ください。)				
	学科・専攻名	年次	学籍番号	氏 名
1				
2				
3				
4				
5				
実施日 (期間)		令和 年 月 日 ( ) ~ 令和 年 月 日 ( )		
実施時間		時 分 ~ 時 分		
研究先 (研修場所)		名 称	〒  TEL :	
		所在地		
引率教員		無 ・ 有 (引率教員名 : _____ )		
礼 状	宛 名	機関 :	役職 :	氏名 :
	住 所	〒 _____ <input type="checkbox"/> 研究先所在地と同じ (記入不要)		
	封筒宛名	※ 宛名と封筒宛名が違う場合 部署 : _____ 役職 : _____ 氏名 : _____		
備 考				

※2

学部生 教育委員	大学院生 指導教員

提出日： 年 月 日

農学府・農学部科目履修登録届（学外実習等用）

（令和 年度 学期開講分）

農学部 ・ 農学府	学科名・専攻名	学年	学籍番号	氏 名

（理由）該当するものに○をつけてください。

<input type="checkbox"/> Web登録不可の科目であるため
--

（注意事項）

- ・黒または青のインクでの記入、修正テープ（液）の使用は無効です。
- ・重複履修は認められません。（同曜日・同時限の科目がない事を確認してください。）
- ・部局コードは下表で確認のうえ記入してください。

部局	農学部	農学府	獣医学 専攻
コード	01	05	71

- ・学部生は学科教育委員、大学院生は指導教員の確認印（用紙上部）が必要になります。

【履修を希望する科目】

1	部局 コード	学科・専攻・プログラム	授業科目名	単位数	担当教員印
		学科 専攻 プログラム			
実施期間		年 月 日～ 月 日 ( )日間			
2	部局 コード	学科・専攻・プログラム	授業科目名	単位数	担当教員印
		学科 専攻 プログラム			
実施期間		年 月 日～ 月 日 ( )日間			

SPICA	
履修登録日	成績登録日

